

平成 29 年度新宿区立図書館サービス計画  
実績及び自己評価・次年度の対応

平成 30（2018）年 11 月

新宿区立図書館

# 目次

I	サービス計画実績及び自己評価・次年度の対応について	1
II	サービス計画実績及び自己評価（平成 29 年度）	
	中央・こども図書館	3
	四谷図書館	9
	鶴巻図書館	13
	西落合図書館	18
	戸山図書館	21
	北新宿図書館	25
	中町図書館	29
	角筈図書館	33
	大久保図書館	38
	下落合図書館	41
III	31 年度のサービス計画にあたっての対応事項	
	中央・こども図書館	45
	四谷図書館	46
	鶴巻図書館	46
	西落合図書館	47
	戸山図書館	47
	北新宿図書館	48
	中町図書館	48
	角筈図書館	49
	大久保図書館	50
	下落合図書館	50

## I サービス計画実績及び自己評価、次年度の対応について

### 1 サービス計画とその評価の目的

平成 20 年 6 月の図書館法の大規模な改正と、これを踏まえた「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正により、各年度の事業計画、運営状況の点検・評価及び、これらの公表などが規定された。この主旨を踏まえて平成 29 年度のサービス計画の実績と評価を行い、サービス向上につなげていくことを目的とする。

### 2 評価対象

「平成 29 年度 新宿区立図書館サービス計画」

### 3 評価の方法

#### (1) 評価の視点

- ① 新宿区立図書館基本方針の達成にどれだけ貢献・寄与したか。
- ② 地域の実情や利用者のニーズにどれだけ応えているか。
- ③ 先駆的・先進的な工夫がなされているか。
- ④ 目標（回数・実施時期等）は適切であったか。
- ⑤ 効果的効率的に実施されたか。

#### (2) 評価点と評語

- 4 目標又は前年実績を著しく上回る成果かつ先駆的、先進的な取り組みを行った場合
- 3 目標又は前年実績を上回る成果
- 2 目標又は前年実績とほぼ同じ成果
- 1 目標又は前年実績を下回る結果

#### (3) 評価の手順

- ① 各館で実績を記載し、前記、評価の視点及び評価点に基づき、自己評価を行う。
- ② 中央図書館で集約し、内容を確認する。（欄外の「\*」は確認の上、調整した項目）
- ③ 図書館運営協議会で報告し、意見等を徴収する。
- ④ 中央図書館で③の意見を反映させ、新宿区立図書館サービス計画の評価とする。

### 4 評価結果

「サービス計画実績及び自己評価（平成 29 年度）」のとおり

### 5 次年度の対応

「31 年度の次年度サービス計画にあたっての対応事項」のとおり

## 6 サービス計画実績及び自己評価の見方

29年度当初の分野別計画事項						自己評価		
I 区民に伝える図書館				指標	単位	数量	実績	自己評価
項番	基本方針の№	29年度サービス計画の「事業内容」						
1	1	① バランスや地域の特性を考慮した資料収集計画を行います。区の歴史、産業、地域資料等の中長期的・重点的な収集に配慮しつつ取り組みます。		バランスや地域の特性を考慮した資料収集と、地域資料の収集	点	54,010 (108,965)	区立図書館全体のバランスを考えた蔵書構成に努めるとともに、ビジネス街や外国人の集住地域の特性に合わせた資料収集を行った。区に関する地域資料を幅広く収集し、所蔵資料の更なる充実を図った。	1*

1～4段階で、4が最高評価点とする。

下記、基本方針の番号

上段：29年度実績  
(下段：28年度実績)

「\*」は中央図書館で確認の上、評価を調整した項目

### 【基本方針の番号】

#### I. 区民に伝える図書館

- 1 資料の充実
- 2 地域資料の充実
- 3 電子資料等の活用
- 4 行政資料の充実
- 5 他自治体等との連携

#### II. 区民を支える図書館

- 6 区民の課題解決支援
- 7 利用者にわかりやすく役立つサービスの提供
- 8 外国人・障害者・高齢者に対する支援
- 9 区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援
- 10 博物館・大学等との連携
- 11 行政支援

#### III. 区民が集う図書館

- 12 魅力あるイベントの実施
- 13 多様な学習機会の提供
- 14 情報の生産・発信・交流の支援
- 15 区民との協働

#### IV. 子どもの成長を応援する図書館

- 16 「新宿区子ども読書活動推進計画」
- 17 読書環境の充実
- 18 読書活動への支援
- 19 区立図書館の利用促進
- 20 学校等との連携
- 21 絵本でふれあう子育て支援

#### V. ICTの利活用の推進

- 22 図書館情報システムの充実
- 23 ホームページの充実
- 24 ICTのさらなる活用

#### VI. 図書館環境の整備

- 25 新中央図書館建設と地域図書館の配置
- 26 身近な場所の読書環境の整備
- 27 運営体制の充実
- 28 利用満足度の高い図書館運営
- 29 人材の育成・活用
- 30 利用者の快適な環境づくり

## II サービス計画の実績及び自己評価

### 中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①バランスや地域の特性を考慮した資料収集計画を行います。区の歴史、産業、地域資料等の中長期的・重点的な収集に配慮しつつ取り組みます。	バランスや地域の特性を考慮した資料収集と、地域資料の収集	点	54,010 (108,965)	区立図書館全体のバランスを考えた蔵書構成に努めるとともに、ビジネス街や外国人の集住地域の特性に合わせた資料収集を行った。区に関する地域資料を幅広く収集し、所蔵資料の更なる充実を図った。	1
2		②オリンピック・パラリンピックに関連した資料を毎年収集し、展示コーナーを充実します(年間20冊程度以上目途)	オリンピック・パラリンピック関連本の収集	点	51 (113)	新規の出版物だけでなく、過去のオリンピック・パラリンピックで活躍した選手や開催競技の記録内容に関する資料など幅広く関連本を収集し、展示コーナーの充実を図った。	1
3		①新宿区にゆかりのある作家等のマンガで、地域資料となる資料の収集を開始します。資料は今後の図書展示等で活用を図ります。	地域資料としてのマンガの収集	点	64 (-)	赤塚不二夫氏のマンガを購入、受入し排架した。	2
4	2	②区の歴史、産業等の関連資料を収集します。	区の関連資料の収集	点	1,131 (882)	区や都に関する地域資料を幅広く収集した。	2
5		③地域のお知らせなどの資料の情報収集を図り、収集範囲や課題等を検討します。	課題等の検討回数	回	4 (2)	商店街等を対象とした地域雑誌や学校だより等の収集の現状等を確認し課題把握を行った。	2
6	3	①電子書籍の課題、先進事例、電子資料の活用方法についての情報収集を行います。	フォーラム、企業説明会等への参加	回	5 (3)	電子図書館の導入や電子資料の活用に関して先進的な取り組みを行っている自治体視察、電子資料に関するフォーラム等参加による情報収集及び検討を行った。	2
7	4	①各部署で作成し、各区立図書館で所蔵している行政資料について、区民が活用しやすい仕組み作りについての情報収集を行います。	収集した資料点数	点	324 (208)	全庁で作成する行政資料並びに地域資料の収集に努めた。	3
8	5	①他の自治体の図書館等と協力し、図書館資料の相互貸借を行うとともに、区内在住、在勤、在学者が相互貸借をより利用しやすい仕組み作りの検討を開始します。	検討回数	回	1 (-)	図書館資料の相互貸借を行うとともに区民優先を視野に入れた相互貸借制度のあり方を検討した。29年度において本格的に検討を行っている。	2
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
9	6	①区の担当課との連携による、健康づくり等展示の取り組みを行います。また、区内の専門機関や相談窓口のある団体等と連携し、区民の課題解決に向けた資料収集のための情報交換等を行います。	連携による展示回数 情報交換等の実施数	回	2 (2) 1 (1)	健康部(9月)、選挙管理委員会(6月)の依頼により企画図書展示を行った。また、6月に中央図書館、産業振興課、角筈図書館の三者でビジネス支援事業についての情報交換を行った。	2
10		②利用者用インターネット端末で閲覧できる商用データベースの拡充(ジャパンナレッジ)を継続して提供します。	商用データベース(ジャパンナレッジ)利用可能館数	館	10 (10)	全館の利用者用インターネット端末で商用データベース(ジャパンナレッジ)を継続して提供した。	2
11	7	①図書館利用者向け情報リテラシー支援講座(年3回)を開催します。また、利用者の情報検索を的確に支援できるよう、地域図書館の職員を含め、能力向上を図ります。	講座等開催数	回	4 (4)	利用者向け情報リテラシー講座「楽しく学ぶiPad!～あなたの「図書館」世界が広がります」を3回実施した。また地域図書館を含めた職員向けに、商用データベースを用いた情報検索講習会を計4回実施した。	2
12	8	①館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスを促進します。	家庭配本回数 家庭配本資料点数	回 点	702 (849) 3,167 (3,918)	障害者サービスは戸山図書館を拠点館として、家庭配本サービスは各館でサービスを提供した。中央図書館の配本回数50回、配本資料点数215点	1

# 中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
13	8	②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助、字幕や手話付の映写会を開催するなど、障害があっても図書館利用の妨げにならない工夫を行います。	音声読上げソフト操作研修 字幕付映写会開催回数	回 回	1 (1) 18 (18)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めた。図書館へ異動した職員・新規採用職員を対象に音声読上げソフトの操作研修を行った。字幕付映写会を前年度と同回数開催した。	2
14		③障害者サービスの拠点館である戸山図書館が行っている対面朗読サービス、録音図書製作・貸出等のサービスを提供していくため、録音システムの管理維持等を通じ、戸山図書館を支援していきます。	録音機器点検	回	1	録音機器等の点検を実施し、機器の故障等はなかった。	2
15		④下落合図書館に拡大読書器、北新宿図書館に点字案内板を各1台設置します。	拡大読書器・点字案内板設置台数	台	2 (2)	録音システム・拡大読書器の管理維持のほか新たに拡大読書器を下落合図書館、点字案内板を北新宿図書館に設置した。	2
16		⑤平成29年度から視覚障害者向けDAISY資料の迅速な提供を行うため、戸山図書館でテキストDAISYを作成し、利用者に提供します。これに伴い当該作業に必要な機器やソフトウェアを購入します。	DAISY製作機器(スキャナ・OCRソフト・編集ソフト等)購入 点字プリンター購入	台	5 (-) 2 (-)	DAISY製作機器(スキャナ・OCRソフト・編集ソフト等)購入 点字プリンター購入	3
17	9	①中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会を開催します。	ビジネス情報支援相談会参加人数	人	中央12(11) 角筈17(20)	中央図書館が申込16名、キャンセル4名、利用者計12名。角筈図書館が申込21名、キャンセル4名、利用者計17名。	1
18		②図書館の会議室について、読書推進の活用や利用促進の方策を検討します。	貸出回数	回	58 (61)	絵本の読み聞かせ団体、歴史勉強の会、就労支援団体等への貸出を行った。(1回:平均3時間)	2
19	10	①新宿区と協定を結んでいる大学図書館との連携を利用者へPRします。	本制度の利用者	名	34 (29)	4大学の図書館と連携し、34名の利用者が本制度を利用した。	2
20	11	①区の施策の企画立案に有効な情報を収集・提供するため、庁内周知を行います。	庁内レファレンスサービス件数	件	4 (7)	行政情報や地域情報を常時収集している。また、職員への周知として、「庁内レファレンスサービスの案内」を行った(1回)。	1
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
21	12	①図書館講座を開催し、図書館イベントを通じた交流機会の提供等を図ります。	図書館講座参加人数	人	131 (210)	ビジネス、朗読、考古学、視聴覚として映画をテーマに図書館講座を行った。	1
22	13	①図書館の会議室の利用について、読書推進の活用や利用促進の方策を検討します。	貸出回数	回	58 (61)	絵本の読み聞かせ団体、歴史勉強の会、就労支援団体等への貸出を行った。(1回:平均3時間)	2
23	14	①中央図書館の2階に新たに設置した展示コーナーを区民の方々が活用できるよう活用方法、対象者などルールづくりを検討します。	展示コーナーの活用方法の検討	回	1 (-)	展示内容・実施方法の検討を行った。	2
24	15	①図書館の活動に原則無償で協力している図書館サポーターの登録、コーディネートを行います。また、年2回、サポーター講習会(2月)を開き、意見交換とスキルアップを図ります。	活動回数 登録者数	回 人	1,255 (1,495) 253 (229)	日常的に図書館サポーターの登録・活動を支えるとともに、サポーター講習会を行い、意見交換とスキルアップを図った。中央・こどもの活動回数343回、登録者数125人	1
<b>Ⅳ 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
25	16	①新宿区子ども読書活動推進会議を開催し、子ども読書活動推進計画に挙げている各事業の進捗状況を把握するとともに検証することで、子どもの読書活動を円滑に推進していきます。	新宿区子ども読書活動推進会議	回	3 (3)	7月、12月、3月に会議を開催し、第四次子ども読書推進計画の各事業の進捗状況の報告や絵本でふれあう子育て支援事業において配付する絵本の選定を行った。今年度から、会議録をホームページで公開し更なる情報発信を図った。	2

中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
26	16	②「子ども読書活動の推進に関する法律」に定められた「子ども読書の日」(4月23日)、「こども読書週間」(4月23日～5月12日)の趣旨について、「広報しんじゅく」及び「しんじゅくの教育」に掲載し、子ども読書活動の普及啓発と推進を図ります。	子ども読書活動の普及啓発	—	—	全図書館、学校及び子育て関係施設で「子ども読書の日」「こどもの読書週間」のポスター掲示を依頼した。 こども図書館で普及啓発のために読書おみくじ、人形劇会等を実施した。	2
27			読書おみくじ・絵本おみくじ 参加人数	人	821 (743)		
28			人形劇会 参加人数	人	114 (51)		
29	17	③「新宿子育てメッセ」の場において、絵本でふれあう子育て支援事業をはじめ、子ども読書活動の普及啓発と区立図書館事業の周知に努めます。	子育てメッセブース来所者	人	269 (263)	「新宿子育てメッセ」にブースを出展し、絵本でふれあう子育て支援事業の周知を行った。今年度から地域館が参加し、図書館全館で情報発信した。平成29年度から、地域図書館も参加し、全館体制で情報発信した。	2
30			—	—	—	「家庭読書のすすめ」ポスターを掲示し、区立小・中学校に刑事依頼して趣旨普及を図った。	
31			常設展示冊数	冊	67 (—)	常設展示コーナーを設置し、情報発信した。	
32	18	①親子がゆったりくつろぎながら読書を楽しみ、また、親同士の情報交換の場としても利用できる「本と親子のふれあいの場」について、利用対象年齢を就学前までに拡大し、多くの親子に楽しんでもらえるよう拡充します。	お話しの部屋年間利用人数	人	延べ265	平日の毎日、午前中にお話し室を開放し、乳幼児づれ親子が読み聞かせを楽しみながら交流している。簡単な工作会を毎月1回行っている。今年度はマスコットキャラクターの愛称募集を行い、延べ17日間で87人の応募があった。コーナーの定着がうかがわれた。(マスコットキャラクター:びよちゃん)	2
33			出張お話し会等、実施回数	回	4 (5)	保育園に出張し、読み聞かせを行い、図書館の利用促進を図った。	3
34			団体貸出数	点	57,868 (57,609)	こども図書館の団体専用書庫の配本サービスを活用し、区内全域の子育て支援施設での読書活動を支援した。	
35			③子どもを対象とした推薦図書リスト、「クローバー」(小学生向け)、「Clover」(中学生向け)を作成し、区立小中学校の全児童・生徒に配布することで、読書活動の支援を行います。	小学校・中学校への配付数	名	配付数 小学生 8,946 (8,451) 中学生 2,454 (2,753)	子どもの読書の発達段階に応じて利用できる推薦図書リスト「クローバー」(小学生向け)と「Clover(中学生向け)」の2分冊を作成し、区立小・中学校の全児童・生徒に1部ずつ配付した。
36	④小学生から中学生を対象に、本や図書館の楽しさを実感できる、子ども読書リーダー講座を開催し、子どもたちが自ら読書活動の中心となることを目指します。	参加人数	人	33 (—)	年8回開催し、延べ33人が参加した。子どもたちが読書や調べ学習の楽しさを体験し、「子ども読書リーダー通信」(区立の全校配布)で成果を発信した。	2	
37					POPを作ろう 7月、10月に各1回開催 17人参加		
38					レファレンス調査隊7月開催 5人参加		
39					おたのしみふくぶくろ作り 10月開催 2人参加		
40					英語と日本語のおはなし会 3月に2回開催 6人参加		
41	おはなし会で読み聞かせをやってみよう 3月に2回開催 3人参加						

# 中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
42	19	①読書から遠ざかりがちな中学生、高校生を対象とした中高生コーナーの利用促進を図ります。また、中高生向け図書の新着情報リストを毎月発行し、学校図書館へ提供することで、図書館の利用促進を図ります。	職場体験受入	回	延べ3 (4)	近隣の高校や中学校の職場体験を受入れ、中学・高校生の意見を選書に採り入れた。また、中・高校生向け新着図書リストを作成し、館内配布やホームページ掲載で情報発信した。	2
43			中高生向け新着図書リストの発行回数	回	12		
44		②子ども向け行事を開催し、図書館の利用者及び利用者登録を促進します。 (おはなし会、こどもえいが会、人形劇、作家講演会、スペシャルおはなし会など)	①おはなし会参加人数	人	4,826(6,566)	毎日3時からおはなし会、日曜日に小さい子向けおはなし会を実施した。また、外国語のおはなし会を1回実施した。合計326回	2
45			②こどもえいが会参加人数	人	100 (79)	4月、8月、12月に上映した。季節感ができるものや名作のものを選んだ。	
46			③人形劇(再掲)参加者数	人	114 (51)	「町のねずみといなかのねずみ」(人形劇団オフィスやまいも)を上演した。	
47	かがくあそびじしゃくでさかなつり		人	23 (一)	工作・実演を中心に、磁石のしくみを楽しく学んだ。関連図書の展示も行った。		
48	19	ぬいぐるみおとまりかい	ぬいぐるみおとまりかい	人	19 (一)	子どもたちがぬいぐるみと一緒に話し会に参加し、ぬいぐるみだけがお泊り。館内で好きな絵本を読んでいる写真を子どもたちに手渡した。申し込み初日に定員となり、高い人気があった。	
49			おたのしみふくぶくろ	人	95 (一)	秋の読書週間に合わせて行った。本を子どもたちが一言メッセージを添えた封筒で包んだ福袋を貸し出すことで、読書の魅力を発信した。	
50			④作家の講演会参加者数	人	27 (25)	絵本作家を招いて、絵本の読み聞かせやことば遊びなどを交えながら、創作活動の話や世の中に伝えたい思いなどを話していただいた。	
51			⑤スペシャルおはなし会参加人数(再掲)	人	41 (53)	夏らしいおはなしや手遊び、歌遊び、手品、ブラックパネルシアターなど、普段と違う怖いお話しに人気があった。	
52	19	①朝読書や調べ学習で使用するためのテーマ別資料セットを充実し、貸出利用を促進します。	朝読書提供件数	件	299 (107)	朝読書セットは、今年度から学年別に1セット20冊(これまで40冊)箱詰め・配本し、子どもたちのニーズにきめ細かく対応できるようにしている。	2
53			学習支援便提供件数	件	380 (428)	「学習支援便」は、学校から教材の貸出依頼を受け、子ども図書館が選書する配本サービスで、調べる学習等の授業を支援している。	
54	20	②各地域図書館で実施する「図書館を使った調べる学習コンクール」を支援するとともに、地域コンクールを合同で開催し、各館ごとに優秀な作品を表彰します。また、上位作品については、全国コンクールに推薦します。	図書館を使った調べる学習コンクールを活用したレファレンスの向上	参加点数	2,710 (3,338)	同時期に複数のコンクールが重複したため、参加数(地域館へ申込)は減少したが、国コンクールで初めて最高賞の文部科学大臣賞(担当:角筈図書館)を受賞し、優良賞が2点増加して成果があった。 〔応募作品数〕 小学生:2,293、中学生:349、高校生:68 うち地域コンクール表彰数:館長賞:29 優秀賞:25 奨励賞:219 全国コンクール表彰数:入賞:1:文部科学大臣賞1(一) 優良賞:4(2) 奨励賞:10(4) 佳作:39(60)	1
55		③学校、幼稚園、保育園、子ども園、児童館等を対象に行っている団体貸出の配本便数を拡大し、利用機会の拡充を図ります。(22回→33回)	団体貸出点数(再掲)	点	57,868 (57,609)	・利用実績:幼稚園・保育園・子ども園等は計47(40)施設、区立学校は計34(36)校が利用し、昨年度より利用団体が増加した。学習支援便は380(428)件の依頼があった。 ・実施状況:調べ学習用の本などを中心に年間3,737(3,216)冊の図書を購入し、団体図書の充実を図った。 平成29年度は、私立保育園や認証保育所等に事業周知とアンケート調査を行い、利用拡充を図った。	2



中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
56	20	④区立図書館が購入した新刊本の中から、学校における活用に推薦する「新刊選書リスト」を作成し、学校図書館支援員に提供することで、学校図書館の充実に役立ててもらいます。	「新刊選書リスト」発行回数 (毎回、15冊程度掲載)	回	12回	図書館が購入した児童書の中から司書が選んだ学校向け「新刊選書リスト」を作成し、学校に配付した。 学校図書館システムで閲覧・活用して、区立図書館との連携と学校図書館の充実を図った。	2
57							
58	21	①各保健センターが実施する3歳児検診および3～4か月児検診対象の幼児とその保護者を対象として、絵本の配布や、読み聞かせ、図書館の利用案内等を行い、乳幼児の心健やかな成長促進と、親子がふれあい楽しく育児をすることができるよう支援します。	絵本でふれあう子育て支援事業	読み聞かせ参加率	*3～4か月児 89.2% (95.7%) *3歳児 81.2% (83.2%)	健診対象者全員を対象として読み聞かせと絵本の配付を行った。 ・絵本配付数 3～4か月児配付数:2,670(2,571)セット (2冊組。保健センターで配付) 3歳児への絵本配付数:1,299(1,247)冊 (図書館で配付)	2
V ICTの利活用の促進			指標	単位	数量	実績	
59	22	①現行の図書館情報システムのサポート終了に伴い、新システムに更新します。更新に当たり、4月から業者選定・データ移行等の処理を行い、30年1月14日から新システムを稼働します。新システムにはメール督促等のメールを利用したサービス、電子書籍サービス連携機能を装備します。	新図書館情報システムへの更新・新図書館ホームページの構築	1	式	新たな図書館情報システムを導入し、30年1月14日から業務開始し、返却期限リマインドメールの配信等のメールを利用したサービス、受取保留、順番予約など新たなサービスを開始した。また、新宿区のホームページから独立し、アクセシビリティに配慮した新たな図書館ホームページを構築した。	3
60	23	①閲覧者のニーズを捉え興味をもたれるコンテンツを充実させるとともに、インターネット利用の習熟度、障害の有無、年齢にかかわらず、利用される全ての方が状況に応じて快適に閲覧できるよう、ウェブアクセシビリティ(高齢者・障害者のホームページ利用への配慮)の取り組みを進めたホームページに見直します。	更新回数	回	100 (94)	閲覧者のニーズを捉え興味をもたれるコンテンツを充実させた。インターネット利用の習熟度、障害の有無、年齢にかかわらず、利用される全ての方が状況に応じて快適に閲覧できるよう、アクセシビリティに配慮した。	2
61	24	①新宿ゆかりの人物データベースや、地域資料探検隊データベースに情報を追加するとともに、利用者用インターネット端末のジャパンレレッジ閲覧を継続します。(再掲)	新宿区ゆかりの人物データベース数	件	252 (232)	20名の新宿区ゆかりの人物データの情報を、追加作成した(クーデンホーフ光子、丹羽文雄、月岡芳年他)。	2
62		②電子書籍の課題、先進事例、電子資料の活用方法についての情報収集を行います。(再掲)	フォーラム、企業説明会等への参加	回	5 (3)	電子図書館の導入や電子資料の活用に関して先進的な取り組みを行っている自治体視察、電子資料に関するフォーラム等参加による情報収集及び検討を行った。	2
VI 図書館環境の整備			指標	単位	数量	実績	
63	25	①新中央図書館等基本計画を踏まえ、引き続き、関連部署等との検討を継続します。	会議数	回	5	平成30年からの新たな新宿区教育ビジョンにおいて、引き続き検討を行った。	2
64	26	①身近な場所での貸し出しや返却のあり方等の検討を開始します。	会議数	回	2	コンビニエンスストア等の返却実施について検討を行い、実行計画に掲げたが、手段・コスト等、引き続き検討することとなった。	2
65	27	①指定管理者の運営支援を行うとともに、適切に評価を行い、利用環境の改善やサービス向上を図ります。	会議数 事業評価委員会 館長連絡会 指定管理者運営会議	回	7(5) 12(11) 各館12(12)	月例の指定管理者運営会議、館長連絡会を通じて意見交換・指導を行うとともに、外部委員を中心とする事業評価委員会による指定管理者事業評価を行った。	2
66	28	①28年10月に実施した四谷図書館の休館日の変更を踏まえ、月曜一斉休館の改善について引き続き検討します。	休館日の変更	回	- (1)	新宿区第一次実行計画・平成30年度からの新たな新宿区教育ビジョンにおいて、図書館利用機会の充実(「毎日開館体制」の構築)を計画事業内に位置づけた。	2
67	29	①中央・こども図書館内の係間研修(7月)、中央・こども図書館と地域図書館との相互派遣研修(11月)を行い、図書館業務について知識、認識等を深めます。	参加延べ人数	人	26 (25)	相互の図書館業務を行うことにより臨機応変に対応できるような図書館職員を目指し、さらなる知識や認識を高めた。	2
68		②図書館の専門職員養成のため、職員を司書講習に派遣します。	参加人数	人	1 (1)	専門知識を身に付け、利用者にスキルや知識などを提供した。(7～9月)	2

## 中央・こども図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
69	30	①区民意見システム、館内ポスト等に寄せられる様々な方からのご意見を集約し、サービス改善等を図ります。	苦情共有のしくみづくり	件	302 (226)	寄せられた意見を集約し、全館で共有するしくみづくりを行った。 (参考)寄せられた意見の内訳 ・中央図書館事務連絡簿140(120)件・区民意見システム140(106)件・他投書箱等22件	2
70		②防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	防災訓練の実施	回	1 (1)	防災マニュアルを最新に整え、防災訓練を行った。	2
71		③中央図書館敷地内の校庭の環境整備に努めます。これに伴い、プロジェクトチームを立ち上げ、校庭の今後の活用について検討します。	環境整備の実践	回	3 (-)	「雑草対策」「花壇整備」整備を行った。	2

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①外国語資料、特に英語多読関連資料を充実させるため、洋書書架を一新します。	所蔵英語資料の点数	点	3,000	外国語資料、特に英語多読関連資料や受賞作品などの受入を積極的に行い、洋書(英語)の所蔵点数をこれまでの最高実績まで伸ばした。	4
2	2	①区発行の地域情報資料及び、多文化関連施設を含む近隣の公共施設の活動等を紹介している「四谷文化ネット」などの機関を通じて設置します。	地域資料の設置	—	—	「四谷文化ネット」などの掲示スペースを活用して、区発行の地域情報資料、および多文化関連施設を含む近隣の公共施設の活動紹介資料を設置した。	2
3		②名誉区民やなせたかし氏の活動と著作・資料の紹介コーナーを充実します。	同コーナーの充実	—	—	名誉区民やなせたかし氏の活動と著作・資料を紹介する常設コーナー。新刊を積極的に受け入れ、装飾も増やすなど同コーナーを充実させた。	3
4	5	①平成28年1月に解散した霞ヶ丘町町の広報紙や写真などを公開できるよう収集を進めます。	資料の収集	—	—	旧・霞ヶ丘町町会関連資料などの収集を行ったが、質量ともに公開できるほどの資料収集には至らなかった。	2
<b>II 区民を支える図書館</b>							
5	7	①現在設置中のパスファインダーのうち、2種(各200部)を更新します。	パスファインダーの点数	点	1 (2)	パスファインダーの掲載情報の更新は、全種類を対象に適宜作業を行っている。点数ごとの更新が済み次第、順次印刷し設置している。	2
6		②図書館での資料の探し方や、インターネットを使った情報検索講習会を開催します。	講習会参加人数	人	19 (20)	「調べもの講座」として図書館での資料の活用方法や、インターネットを使った情報検索の講習を行った。(全4回)	2
7		③外部専門機関・団体などから講師を招き、古文書や古地図を読むなど、地域資料に親しむ地域資料レファレンス講座を開催します。	講座参加人数	人	0	講師選定に日数を要し、継続開催している情報検索講習会との日程調整ができず、開催を断念した。	1
8	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など図書館利用の工夫を行います。	図書館利用の工夫	—	—	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し遵守するよう努めた。利用者パソコンの音声読み上げソフトや筆談ボードを活用したコミュニケーションなど、図書館利用に対する工夫を行った。拡大読書器を継続設置し、利用に供した。	2
9		②四谷保健センター等と連携して認知症サポーター講座を開催します。	講座参加人数	人	40 (37)	近隣地域の高齢者支援を目的として、四谷高齢者総合相談センターの協力を得て講座を開催した。	2
10		③地域交流館と連携し高齢者対象のビブリオバトル(知的書評合戦)を行います。	イベント回数	回	2	近隣の高齢者の集いの場である地域交流館やシニア活動館と連携して、年配の方々を対象の中心としたビブリオバトル・ワークショップを実施した。	3
11	9	①四谷地区協議会および分科会、花いっぱい運動・ゴミゼロ運動など地域活動に参加して協力します。	地域活動への参加	—	—	四谷地区協議会および分科会の委員として、花いっぱい運動やゴミゼロ運動などの地域活動に参加して支援協力した。	2

## 四谷図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価	
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績		
12	10	①消防博物館と連携し、同館のイベントスペースを使っておはなし会を開催します。	おはなし会参加人数	人	45 (65)	近隣施設である消防博物館(東京消防庁四谷消防署内)1階のイベントスペースでの恒例のおはなし会。会場都合により出入口を制限したため、集客数に影響が出た。	2 *	
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績		
13	12	<b>①内藤新宿・四谷地域に関連した事業を行います。</b> ①内藤とうがらし調理ワークショップ ②街歩き「江戸城ぶらり」 ③街歩き「地形からみる四谷の今昔 partⅣ@新宿御苑」 ④歴史講演会 ⑤パネル写真展示「どこコレ?!」教えてください昭和の新宿 ⑥街歩き「昭和の新宿思い出ぶらり」	①調理WS参加人数	人	20 (17)	江戸名物だった内藤新宿の食材「内藤とうがらし」の調理と試食を行った。	3	
14			②街歩き参加人数	人	35	内藤新宿を新たな視点と高い俯瞰でとらえるため、江戸城の歴史や地勢、構造を学んだのち、実際に本丸跡等を訪ね、東御苑を歩いた。	4	
15			③街歩き参加人数	人	19 (20)	新宿御苑とその周辺の社寺を散策し、水系を中心とした御苑の歴史と地形的特徴の解説を行った。入園料は参加者各自が負担した。	2	
16			④講演会参加人数	人	65 (25)	内藤新宿の成り立ちから、四谷周辺の史跡の紹介まで、文学・芸術のイメージを重ねながら、独自の視点で歓楽街としての新宿の歴史を解説した。	4	
17			⑤パネル写真展示	—	—	新宿歴史博物館や区内在住者所有の昭和の写真を展示し、写真にまつわる情報や思い出を来場者から聞き取り、地域交流を図った。	3	
18			⑥街歩き参加人数	人	7	写真展示「どこコレ?!」との連動企画。展示の中から選択した写真の撮影状況を参加者全員で考察。街歩きを通して昭和の思い出を振り返った。	2	
19			②玉川上水の源流となる羽村取水堰などを訪れる「玉川上水ぶらり」を行います。	街歩き参加人数	人	0	玉川上水の源流、羽村取水堰などを訪ねる企画。当初はチャーターバス(都バス)利用を計画していたが、現地集合案に変更して次年度に実施することとなった。	2 *
20			③新宿御苑(入園料実費)での野鳥観察会を開催します。	イベント参加人数	人	70 (30)	新宿御苑をフィールドにした野鳥観察会。双眼鏡やスコープを使い、葛西臨海野鳥園講師による解説を楽しんだ。入園料は参加者各自が負担した。	4
21	④児童だけでなく保護者・成人も対象に児童絵本作家講演会を開催します。	講演会参加人数	人	14	児童絵本作家を招き、自著絵本の読み聞かせのあと、参加者全員で「動くしおり」を作った。	2		
22	⑤女性の健康づくりを推進するため、ヨガ等のイベントを開催します。	講座参加人数	人	15 (7)	四谷保健センターとの協働事業。女性の健康づくりを推進するため、「ロコモ」予防の講義を開催した。	3		
23	⑥日々の生活に役立つため、インテリアの講座を開催します。	講座参加人数	人	11 (18)	協力依頼先のインテリア産業協会およびインテリアコーディネーター協会が立案した企画に基づき毎年実施してきた。企画内容により応募人数に増減が発生する。	2		

## 四谷図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
24	12	⑦手づくりで自分だけの本を作る製本講座を行います。	講座参加人数	人	25 (23)	手づくりで自分だけの本を作るワークショップ。製本家が直接指導し、和綴製本のノウハウを教える。今年には御朱印帳を作った。	2
25	13	①英語多読に関する講座や実践指導を開催します。	講座参加人数	人	64 (42)	NPO多言語多読から講師を招き、英語多読についての講義と実践指導を開催した。前期・後期に各連続2回、計4回。	3
26	14	①図書館の事業活動や地域の歴史・文化などを紹介した図書館報『よつば』を発行します。あわせてバックナンバーのデジタル化を進めます。	図書館報の発行(定期号)	回	4	図書館報『よつば』を発行(年4回、各1,500部)。四谷図書館の活動を伝えるだけでなく、四谷地域の歴史・文化などを紹介し、地域資料としての役割も果たした。	3
27			デジタル『よつば』の発行	—	—	次年度7月のデジタルサイネージ導入にあわせて、『よつば』バックナンバーのデジタル化に向けた準備を行った。	2
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
28	17	①児童、生徒に対して図書館読書スタンプラリーを行います。	スタンプラリー人数(完走者)	人	107 (66)	児童書貸出の度にスタンプカードに押印し、スタンプがたまったら参加児童に四谷図書館オリジナルの「よつぞう」缶バッジをプレゼントした。	4
29	18	①韓国人および中国人を講師に招き、「子どもおはなし会」の特別編として外国語おはなし会を行います。	外国語おはなし会(韓国語と中国語)	人	16	中国人ネイティブを講師に招き、特別編として外国語のおはなし会を行った。	2
30	19	①親子で楽しむクラシックを開催します。	イベント参加人数	人	0	予定していた講師の日程が最終的に調整できず、開催を断念した。	1
31		②こども映画会を開催します。	映画会参加人数	人	131 (255)	当館では、16ミリフィルムによる上映を一貫して行ってきた。DVDに比較するとソフトの点で質量ともに劣り、集客に難はあるが、最近目にするものがほとんどなくなった映写機が見られて、参加者に喜んでもらっている。	2
32		③人形劇を開催します。	人形劇参加人数	人	45 (60)	劇団による人形劇やおはなし、昔の遊びの実演など様々な楽しいプログラムを展開して行った。	2
33		④科学工作会を行います。	工作会参加人数	人	103 (63)	参加児童が実際に工作を楽しみながら体験することで、理科への興味をもってもらう目的で、幅広い理科の分野を網羅して実施した。(全4回)	4
34		⑤身近なバリアフリーを探したり、点字を学んだり、手話を使ったゲームを行うバリアフリーイベントを行います。	イベント参加人数	人	27 (13)	バリアフリーへの理解を深めるイベント。今年は介助犬を実際に招き、あまり知られていないその仕事を紹介した。	3
35		⑥「手袋人形を作ろう」を行い、作り方・演じ方のワークショップを行います。	手袋人形を作ろう	人	0	予定していた講師の日程と支払いについて、最終的に調整できず開催を断念した。	1

## 四谷図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価	
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績		
36	20	<b>①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。</b> ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レブリカを作成します。 ②出版社見学	①作品応募点数	点	143 (202)	近隣地域の学校に対して作品応募の勧誘を行った結果、参加校は4校から6校に増えたが、残念ながら取り組みが消極的になってしまった学校が一部あった。	2	
37			②出版社見学参加人数	人	9 (11)	「調べる学習コンクール」の関連事業として開催。図書(児童書)編集の現場を見学した。	2	
38			③調べ学習教室(小学生向け)参加人数	人	9 (2)	「調べる学習コンクール」の関連事業として小学生を対象に開催。夏休みを利用した調べものガイダンスを行った。	3	
39			③調べものガイダンス(小学生向け)(中学生向け)	③調べ学習教室(中学生向け)参加人数	人	7 (3)	「調べる学習コンクール」の関連事業として中学生を対象に開催。夏休みを利用した調べものガイダンスを行った。	3
40			②小中学校でのブックトーク、職場体験受け入れなど学校を支援します。	他館、学校教育機関等との相互協力	—	—	小・中学校でのブックトーク(年4回)や職場体験・見学・実習の受け入れなど、教育機関を支援した。	3
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績		
41	24	①デジタル古地図アプリ『内藤新宿ぶらり』を更新します。	地図アプリ更新	—	—	デジタル古地図アプリ『内藤新宿ぶらり』の更新を行った。	2	
42		②商用データベースの利用方法を「調べもの講座」などでテーマとして取り上げ、周知を図ります。	データベースの活用	—	—	商用データベースの利用方法を「調べもの講座」などでテーマとして取り上げ、利用者への周知を図った。	2	
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績		
43	28	①四谷図書館の月曜日開館(火曜日休館)を継続して実施します。	休館日変更	—	—	四谷図書館単独での月曜日開館を引き続き実施し、休館日を火曜日とした。月曜日開館は新たな来館者の獲得に寄与した。	4	
44		②利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	アンケート回答人数	人	322 (299)	利用者からの要望や意見などに対して、迅速かつ適切に対応し、職員間や関係者との情報共有を図った。	3	
45	29	①安定した人材の確保と配置を行い、職員研修の受講内容の情報共有を図ります。	人員体制・マネジメント	—	—	安定した人材の確保と配置を行うとともに、職員研修の受講内容の情報共有を図った。	3	
46	30	①防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	管理体制・マネジメント	回	2 (2)	防災マニュアルを見直し、独自に実施している防災訓練の充実を図った。	2	
47		②空気清浄機、消臭剤、アロマディフューザーを設置し、利用者に快適な読書環境を提供します。	快適な館内環境の創出	—	—	アロマディフューザーに加えて、新たに空気清浄機2台を設置した。消臭剤やサーキュレーターも増加して設置し、利用者に快適な読書環境を提供した。	3	

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①「夏目漱石」常設展示の展示場所を現在の地下書架から1階書架に移し、特別な企画を交えながら生誕150周年に相応しい常設展示とします。	地域にゆかりのある「夏目漱石」にスポットを当て、関連する資料を収集し、館のシンボルとして常設展示します。 貸出回数	回	634 (524)	夏目漱石展示コーナーには常時350冊程度を展示している。 毎月、一定数の貸出があり、「今月の1冊」と題して紹介しているおすすめ図書についても貸出しが多かった。 夏目漱石関連の調べものについて問い合わせがあった際、自館の資料で迅速に対応することができ、利用者から好評を得ることができた。	4
2	3	①タブレット端末での電子書籍体験をとおして、電子書籍の魅力を伝えます。	電子書籍相談・体験・宣伝イベント 特別展示 11日間17冊展示 貸出回数	回	15 (4)	29年度は、更なる周知・宣伝に重点を置き、特別展示という形で電子書籍・電子図書館についての情報を発信した。 展示棚にはタブレット端末も併設し、自由に電子図書の閲覧体験ができ、質問も受け付けた。 電子書籍関連本の貸出が大幅に伸び、電子書籍への興味や関心の高さが窺えた。	3
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
3	7	①館内案内図や書架情報など分かりやすいサイン(パネル)やチラシを作成し掲示します。	毎月新着図書の案内を作成・配布	月	12 (12)	一般向け・児童向けと分けて作成し、毎月遅れることなく月始めには必ず用意した。	2
4	8	①館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスによる訪問貸出・返却・レファレンス等、特に高齢者へは積極的な働きかけを行います。	家庭配本サービスによる訪問貸出・返却・レファレンス等	回	7 (12)	今年度も家庭配本サービスの新規登録を受け、利用者からの依頼に応じて、資料の訪問貸出・返却を行うことができた。	2
5		②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づきコミュニケーションボードや筆談ボード等のハード面と、ホスピタリティ等ソフト面において、図書館利用の必要な工夫を行います。	差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、遵守するよう努め、必要な措置を講じます。	—	—	会話で意思疎通が困難な場合に使用できるコミュニケーションボード、文字を何度か書いて消すことのできる磁気ボードをカウンターに設置し、やり取りに役立った。 また困っている方には、積極的に声かけし、適宜最善の対応ができるよう努めた。	3
6	9	①新宿区の2大地場産業である印刷・製本産業ワークショップを行います。	製本講座 「糸かがりてノートを作ろう」参加人数	人	8 (10)	新宿区の地場産業である「印刷・製本」についての知識や理解を深めていただく機会として、糸かがりによる製本講座を行った。 事前に講習を受けたスタッフ2名が参加者のサポートに努めた。それにより、全体の進捗状況に差が出ず、参加者みなさんがノートを完成させることができ、満足そうな表情で帰られた。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
7		②早稲田大学教授による夏目漱石講演会を開催します。	漱石講演会 「都バス『上69』に乗って漱石作品を歩く」 「都バス『上69』に乗って漱石作品を歩く Part.2」 参加人数	人	70 (77)	漱石講演会を、9月と3月の2回行った。 地図を材料に漱石作品を考察した。 早稲田近辺など、身近な土地を取扱いタイトル通り都バスに乗っているかのように漱石の作品を追った。参加者からは「(実際に)バスに乗って散策してみたい」「継続して参加したい」等、前向きな意見が多く好評だった。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
8		③新宿区内で視覚障害者・乳幼児・高齢者などを対象に活動している朗読ボランティアによる朗読会を開催します。	大人のための朗読会 7月「夫婦のお話」 11月「親子」 参加人数	人	28 (32)	朗読グループ「ぐるーぶ・カナリヤ」の方々に協力いただき7月と11月に開催。 安定した実力に加え作中に登場する歌を実際にBGMとして使用するなど様々な工夫が凝らされており、どちらの回もアンケートで好評をいただいた。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
<b>III 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
9	12	①暮らしの講座～ ①「アロマを知る・楽しむ」 ②「熟年世代のライフプランニング」 ③「添乗員による旅行セミナー」を開催します。	①「自然由来のアロマを知る・楽しむ」 ②「エンディングノートは始まりノート～成年後見と相続も見据えて～」 ③「現役添乗員が教える海外旅行のツボ！」 参加人数	人	① 14 (14) ② 11 (25) ③ 15 (14)	暮らしに役立つ3つの講座を開催。 ①アロマセミナー：アロマの基本理論を学ぶ座学に加え、アロマグッズを作成するワークショップを行った。香りの力を体験する楽しさを共有し、笑顔にあふれたセミナーとなった。 ②ライフプランニング(エンディングノート)：モデルケースをいくつも出しながらか講演を進めたことで、参加者の経験や現状と重なる部分が多く、イメージが湧きやすいようだった。 ③旅行セミナー：講師の方が実際に経験した出来事を交えながら、海外旅行の様々な場面で役立つ知識をお話いただいた。	1

# 鶴巻図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
10	12	②精密な模型を作る「大人の方向け工作会」を開催します。	「ペーパークラフト『EF52型 電気機関車』を作ろう」参加人数	人	7 (8)	作品の難易度を下げ、幅広い年齢層の方に楽しんで頂けた。 参加された方の質問にも対応できるよう、講師・スタッフ含め4名体制で指導にあたった。アンケートにも「2時間があっという間でした」など、好評な意見を頂いた。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
11		③「絵本作家によるボールペン絵画教室」を開催します。	絵本作家:「ボールペン画教室」参加人数	人	11 (13)	子どもから大人まで、黙々とボールペンを走らせる姿が印象的であった。 完成作品については、許可を得た上、コピーを2階児童室に展示している。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
12		④落語会「鶴巻図書館寄席」を開催します。演者は桂扇生さんです。	第7回 鶴巻図書館寄席参加人数	人	60 (58)	「毎年楽しみにしている」「次回を心待ちにしている」といった次の開催を希望する声が多く寄せられ、非常に好評であった。また、「子どもも楽しめる」という意見も多く、幅広い年齢の方に楽しんでいただけた様子であった。	3
13		⑤「読んだ本の『帯』を作って紹介しよう」を開催します。	「作って飾ろう本の帯～これが私の好きな本！～」参加人数	人	8 (4)	音符や星などをかたどったものと帯状に切った色画用紙を数種類用意し、参加者に自由に好きな本の帯を作っていた。終了後は帯と該当資料をセットにし、1階カウンター前に展示したところ、半数以上の資料が貸出され大変好評だった。	3
14		⑥「絵本作家によるトークショー」を開催します。	絵本作家トークショー参加人数	人	6 (18)	読者から寄せられた体験談や、講師自身の体験も踏まえたお話は、絵本が社会的役割を改めて考えるきっかけとなり、参加者も印象に残る部分が多いようだった。	1
15		⑦映画会(年2回)を開催します。	TSURUMAKIロードショー参加人数	人	計23 (計22)	今年度はすべてDVD上映とし、大画面・高音質で映画を楽しんで頂いた。 すべての開催で予約時点で定員に達した。	2
16	13	①「ニュース性のあるスポット企画」として時事展示を行います。	タイムリーなスポット企画の展示	回転率	89.5% (89.0%)	毎回、その時期に話題となっている事柄や季節に合わせたテーマを設定し、普段借りられることの少ない資料の貸出を促すことができた。	2
17	14	①平和・戦争について考える契機となる図書収集・展示及びイベントを行います。	平和事業「平和イベント」参加人数 「パネル展示」展示枚数 「図書展示」貸出回数 「展示図書目録」作成部数	人 枚 回 部	9 3 95 40	「イベント」:おりがみ教室を行った。 始める前に平和を願うイベントであることを説明。完成した折り鶴は台紙に貼り、一枚の絵として平和展示コーナーに設置。 平和への願いを共有しながらともに折り上げたその思いが伝わったのか、利用者の目を引きつけ、次回の実施日を問われるなどした。 「展示」:ヒロシマ・ナガサキの原爆をメインテーマにした小説・絵本・記録集に加え、被爆体験記・手記、なかでも「原爆の子」のモデルとなった佐々木禎子さんに関する資料がよく貸出された。	3
18	15	①地域の読み聞かせボランティアの方や早稲田大学ボランティアグループ等と協働したおはなし会を開催します。	①水曜ボランティアおはなし会(毎週第1、第2水曜日) ②早稲田大学生ボランティアおはなし会(毎週土曜日)参加人数	回 人	66 (72) 514 (516)	ボランティアの年齢層、経験値は多様であり、多種にわたり資料の紹介ができた。本の読み聞かせだけでなく、手遊びなどを取り入れた参加型のおはなし会にすることにより、子どもたちが積極的に参加し楽しんでくれるおはなし会を開催できた。 ※回数はシステム更新の影響で減少	2
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
19	18	①近隣の児童関連施設・幼稚園や保育園等に出張しておはなし会を開催します。	子どもの読書推進と来館促進のための出張訪問おはなし会	回	12 (11)	毎月、榎町子ども家庭支援センターの乳幼児スペースにて出張おはなし会を開催。参加者のリクエストを受けながら行い、好評を得ていた。また、家庭支援センターに遊びに来ていた親子が当館に来館してくれるなど来館促進にも繋がった。	3



29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
20	19	①季節の風物を題材としたおりがみ会を開催します。完成した作品は児童室の壁面に飾り展示します。	おりがみ教室 春・夏・秋・冬	回	4 (4)	季節の風物のおりがみを折り、みんなで台紙に貼り付け1枚の絵として完成させ、作品は児童室の壁面に飾り展示するイベント。全4回すべての回が予約開始後早々に定員に達する人気であった。自分のおりがみ作品が児童室に飾られるということで、図書館を身近に感じ、来館促進にも繋がる目玉イベントとなった。	3
21		②子ども向け映画会を開催します。	こども映画会 参加人数	人	計38 (計46)	DVD上映とし、大画面・高音質で映画を楽しんで頂いた。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
22		③人形劇を開催します。	人形劇 参加人数	人	63 (73)	毎年イベントへの関心は高く、今年度も受付開始初週には予約定員に達した。当日は若干名のキャンセルや追加により来場者数の変動はあったものの、混みあうことなくスムーズに進行することができた。	2
23		④乳児と保護者を対象とした「小さい子向けおはなし会」および幼児～小学生を対象とした「おはなし会」を定期開催します。	①おはなし会(毎週第3・第4水曜日) ②小さい子向けおはなし会(第1日曜日・第2土曜日・第4木曜日) 参加人数	回 人	65 (51) 554 (482)	小さい子向けおはなし会は、手遊びをお話の合間に入れ、緩急をつけることで、保護者も一緒に参加できる場を提供することができた。今年度から利用者の要望に応え、第1日曜日にも行うこととし、開催日を増やした。また、大きい子向けおはなし会では、参加する子どもたちの年齢層を見極めながら資料を選択し、飽きることなく楽しんでもらえるよう工夫を行った。	3
24		⑤「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」を開催します。	「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」 参加人数	人	11 (10)	体を動かすことはもちろん、親子の触れ合いや乳児期に大切な親の声をたくさん子どもに聞かせることができる人気のイベント。講師からの最近の子どもたちの体の特徴に関する情報の提供や、参加者同士でコミュニケーションを取る場面もあり、とても充実していた。	3
25		⑥スペシャル工作会を開催します。	「ペーパークラフト・おさかなさんの帽子」 参加人数	人	9 (20)	パーツ点数多めで、曲面など細かな作業を要する「おさかなさんの帽子」に挑戦した。難易度は高かったものの、保護者やスタッフのサポートもあり、子どもたちは、自由に色を塗り、模様を書き加えた個性輝く作品を全員が完成。達成感にあふれた笑顔を見せてくれた。 ※予約時点で目標定員数に達している。	2
26		⑦絵本を音や楽曲に合わせて読み歌うイベント「絵本ライブ」を開催します。	「絵本ライブ」 参加人数	人	28 (35)	絵本作家 永井郁子氏による映像・音楽に合わせたよみかたりとダンス、北島剛毅氏による手作り楽器を用いたよみかたり・工作を行った。 スピーカーを流用することで、より迫力のある映像音を演出。新作の絵本を用いた読み語りを実施するなど前後半それぞれに新しい要素を取り入れた。	1
27		⑧「本を借りてオリジナルトレーディングカードを集めよう！」を行います。	図書館来館促進事業 「本を借りてオリジナルトレーディングカードを集めよう！」 参加人数	人数	265 (216)	【トレーディングカードの内容と内訳】 シール台紙 363枚(2種類合計) ・カード配布枚数 遊園地65枚(3種類合計) 昆虫66枚(3種類合計) シール台紙は「遊園地」と「昆虫」の2種類にした。シールは「遊園地」、「昆虫」で種類を分け、各3種類ずつ用意した。 遊園地は男女共に人気で、幅広い年齢に好評だった。	3
28	⑨クリスマス・スペシャルおはなし会を開催します。	①「大きい子向けクリスマスおはなし会」 ②「小さい子向けクリスマスおはなし会」 参加人数	人	① 19 ② 19 計 38 (31)	①読み聞かせ・お話づくり・サンタ登場・歌の4つの構成で行った。クリスマスソングを歌う場面では、子どもたちも大きな声を出して一緒に歌ってくれたこともあり、最後まで大変な盛り上がりであった。 ②手遊び・読み聞かせ・サンタ登場の3つの構成で行った。最後にサンタからプレゼントと絵本の読み聞かせもあり、大人も子どもも満足していた。	3	

# 鶴巻図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
29	19	⑩つるまきカルタ大会を開催します。	「つるまきカルタ大会 2018」参加人数	人	3 (6)	「絵本カルタ」を2回戦行い、参加賞として取得枚数を記載した用紙を参加者全員に渡した。当日は連日の寒波の影響でキャンセルが相次いだ。お越しいただいたご家族からは好評であり、「次もやりたい！」とご意見を頂いた。	1
30	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習ガイドンス ③調べる学習個別相談会 ④「百科事典の使い方」講座 ⑤ビルの中の野菜農場見学ツアー	図書館の本や様々な情報を使って疑問を解決した「調べる学習」のレポート作品を募集し、その努力や工夫を評価し「調べる学習」の振興及び地域の活性化を促す。 参加人数	①人 ②人 ③人 ④人	400 (413) 101 (9) 2 (15) 11 (-)	7校400名から356作品のご応募をいただき、4校5作品を全国コンクールに推薦応募した。その結果、優良賞1作品・奨励賞1作品・佳作3作品の計5作品が受賞した。昨年度に引き続き、今年度も担当校からの依頼を受け、「調べる学習ガイドンス」「個別相談会」「保護者向け説明会」などの出張授業を計4回行った。特に「保護者向け説明会」は昨年度まで行っていなかったが、担当校から依頼があり初めて実施した。保護者に向けて、作品づくりのポイントや道筋を示すことで、応募作品の内容の充実につなげることが出来た。	3
31	21	①保健センターで3歳児検診および3~4か月児検診の幼児、保護者を対象に、おはなし会、図書館の利用案内等、ブックスタート事業を行います。	3歳児健診、および3~4か月児健診の立会い時に、出張お話を実施するとともにブックスタートの支援と、図書館の利用案内も行う。	回	24 (24)	新宿区の推薦図書を読み聞かせを市谷小学校のボランティアの方が適宜行い、新宿区内の図書館の利用案内を図書館スタッフが行った。健診の日は鶴巻図書館おはなし会の当日又は前日のことが多く、度々おはなし会に参加している利用者を見かけることができ、図書館の利用に繋がった。	2
32		①子育て親子のための「わらべ歌読み聞かせ」を行います。	「親子でわらべうた」参加人数	人	12 (12)	わらべうたは子どもの発達に役立つこと、根気よく続けていくことが大切である等を丁寧に説明したことにより、参加者にはその効果や楽しみ方をじっくり伝えることができていた。親子間での充実したコミュニケーションの場を提供できた。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
33	24	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるよう利用方法の案内を充実します。	データベースの活用促進	—	—	利用者用PCには、閲覧可能なデータベースの一覧を掲示し、利用する多くの方にデータベースの活用を促した。また、データベースプリントにおける手順書や、申込書といったマニュアル一式をファイルにまとめて常備している。印刷を求められた際に、すぐ対応できるように、定期的にスタッフ間で研修を行った。	2
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
34	28	①イベントごとにアンケートを行い、利用者の鮮度の高い要望や意見を参考に満足度向上に努めます。	満足度調査とイベントアンケート	—	—	イベントのたびにアンケート調査を実施し、改善点を把握することで次回イベントの質的向上につなげることができた。年末の満足度アンケートでは、今年度も全般的に高い評価をいただいた。利用者からの要望に沿うサービスを心掛けて、運営したことが高評価に繋がったと考えられる。	2
35	30	①防災マニュアルを点検し、館内整理日に防災訓練を行います。	危機管理マニュアルの確認と研修の充実。日常の防犯体制と、警察・消防との連携。	回	3 (2)	29年度も急を要する事態が生じることはなく平静が保たれた。危機管理マニュアルも29年度更新版を設置している。通常は年2回の災害対策避難訓練および定期的な防災マニュアル確認を実施しているが、今年度は年3回の防火防災訓練を実施した。また、緊急対応時のフローおよび通信・対処マニュアルを事務所内の随所に掲示・設置しており緊急時に備えている。	2

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
36	30	②書籍消毒機・天然アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	①書籍消毒機 ②天然アロマ	—	—	①資料の殺菌や清潔を求める若い母親が、子どもと一緒にブックシャワー機器を利用する姿が増えてきた。継続して周知に努める。 ②今年度は、その家(館)の香りの印象付けをテーマとして玄関にアロマ機器を配置して、玄関回りを柔らかくそっと香らせました。入口ドアを入ると爽やかに香り、滞在時間に関係なく、どなたにも鶴巻の癒しの印象付けが行なわれ好評を得ました。	3

## 西落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	2	①「落合文豪散策マップ」を活用するとともに、新宿区、近隣施設、図書館が作成した地域情報冊子コーナーを充実していきます。	文豪マップ配布数	枚	750 (400)	文豪マップの配布に加え林芙美子と一緒に写真が撮れる顔出しパネルを制作した。多くの子どもたちに親しまれると同時に地元の文豪林芙美子を知るきっかけとなっている。	3
2	5	①隣接区の図書館との情報交換を行い、相互で情報を発信していきます。	情報交換回数	回	3 (2)	図書館イベントを相互で掲示物による情報発信を行った。	2
<b>II 区民を支える図書館</b>							
			指標	単位	数量	実績	
3		①時事的な話題、地域での共通の関心事及び問い合わせの多い事項についてパスファインダーを作成し、活用します。	新たなパスファインダー作成種数	種	3 (5)	パスファインダーを増やし続けるだけのスペース確保が難しく作成数が伸びない。	1
4	6	②利用者の情報検索を的確に支援できるよう、職員のリファレンス能力の向上を図ります。	調査回数	回	32 (-)	スタッフ全員のリファレンスの精度・応対向上を目指すことを目的に本部職員による電話あるいはカウンターでの覆面調査と三ヶ月毎に確認テストを行いその都度現場へ結果をフィードバックしかつ中央図書館へも報告して情報検索技術向上に努め、特にクラシックCDの検索能力は著しく向上した。	4
5		③子育てで抱える不安や疑問を解決できるよう子育て講座を開催します。	参加人数 (託児数)	人	36 (10)	乳幼児を抱える保護者が講座に参加できるように、保育園内で講座を行い、託児サービス付きの講座を実現させた。	3
6		①館利用に障害がある方への利用援助や、手話研修、筆談ボードの活用及び、家庭配本サービスの拡大を図ります。	家庭配本回数	回	66 (48)	家庭配本利用者の中に、精神に障害のある方がいらっしゃるが、心に寄り添うサービスで要望通りの資料選定と配本を行うことができた。	2
7	8	②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、筆談ボードを活用したコミュニケーションや読み上げなどの合理的配慮を行うとともに、身体障害者・高齢者が職員に補助を求め易いよう無線呼び出しベルを用意します。	補助具の提供	—	—	朗読劇では高齢者や聴覚障害者にも聞きやすい専用スピーカーを使用した。視覚障害の種別や程度に合わせて選べるようにリーディングトラッカー、数種類のルーペを用意している。	3
8	9	①「染の小道」が主催する落合地区の染めの街地域活性化イベント「百人染め」に利用者と共に参加します。	参加人数	人	39 (40)	染め物の街落合を知っていただくために地元染物屋さんの指導を受けながら利用者協働の百人染めを完成させた。	2
9	10	①博物館・大学から講師を招き「新宿学」講演を開催します。	参加人数	人	25 (-)	新宿中村屋による図書資料にはない新宿駅東口の発展と落合文豪村芸術家たちの関わりについての講演会を開催した。	2
10	11	①環境対策の一環として、利用者と一緒に打ち水を行い、ヒートアイランド現象についての意識を高めます。	参加人数	人	40 (53)	環境対策課からの呼びかけで4回の打ち水を企画したが、天候不順により開催は2回のみとなった。	2
<b>III 区民が集う図書館</b>							
			指標	単位	数量	実績	
11	12	①特定のテーマや住民が関心を持っているテーマなどでテーマ展示を行うとともに、展示本のリストを作成し、配布します。	展示資料数	点	4,757 (5,480)	特定のテーマや住民が関心を持っているテーマなどで展示を行った。展示本のリストも作成した。児童はテーマを増やし貸し出し増の改善を図った。	2
12		②地域にゆかりのある人物や史跡をテーマとした朗読会を開催します。	参加人数	人	15 (12)	ふみのしおりの会による夏目漱石「夢十夜」全編の朗読会を開催した。	2

## 西落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
13	12	③安心安全インターネット講座を開催します。	参加人数	人	13 (-)	iPad講座中級編内コンテンツとして開催した。	2
14	13	①クラシック音楽講座を開催します。	参加人数	人	13 (16)	バッハをテーマにクラシック音楽の新たな魅力を解説した。	2
		②英語資格試験の受験を視野に入れた英語学習に関する講座を行います。	参加人数	人	21 (26)	注目度の高い英語資格試験の受験を視野に入れた英語勉強法を提案し、英語がわかる生活を紹介した。	2
15	14	①「三世代交流サロン」から発信するFM放送で図書館イベントやテーマ展示を紹介していきます。	情報発信回数	回	14 (14)	三世代交流サロンから発信するFM放送で図書館イベントやテーマ展示を紹介する。	2
16	15	①利用者からしおりのデザインを募集し、展示及び投票を行い、投票結果をもとしおりを作成します。	応募点数	点	48 (31)	幼児への関心を高めるため自由デザインに加えぬり絵の部門も設けた。	2
17		②正月カルタ会で使用するカルタを利用者と協働で作成します。	応募点数	点	45 (35)	かるた会参加者減対策として利用者に絵札を描いてもらうなど協働意識を高め、参加者は大幅に増えた。	3
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
18	16	①幼児保護者向けの絵本読み聞かせ講座を行い、家庭読書の普及を図ります。	参加人数	人	10 (-)	子ども読書リーダ育成講座。本を読むとわかる問題を配付。用意した本をヒントにしながらクロスワードを完成してもらった。	2
19		②東京オリンピック・パラリンピックに関する展示コーナーの設置とパスファインダーを作成します。	展示コーナー設置	点	38	児童室にオリンピック図書常設コーナーを設置した。	2
20	18	①区立小学校の朝読書に協力します。	参加人数	人	181	近隣小学校の朝読に協力した。	2
21	19	①たなばた、ハロウィン、クリスマス、かるた会など地域に根付き愛されている事業を継承して開催します。	参加人数	人	134 (129)	地域に根付き愛されている事業を開催したがハロウィンは工事休館のため休止した。かるた会は参加者大幅増となった。	2
22		②人形劇・映画会を開催します。	参加人数	人	99 (87)	人形劇は参加希望者が多く受け入れきれない課題がある。映画会はDVDより16ミリフィルムのほうがレトロ感がありよいとのご意見をいただいている。	2
23		③授業下調べに役立つ資料の充実及び調べ方相談を通じて小学校の学習支援を行います。	参加人数	人	78	小学校と連携し農業関連資料を区内から集めて館内での調べ学習に利用してもらった。	2
24	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②家族と一緒に学習できる理科読イベント ③工作会 ④自由研究・宿題相談コーナー ⑤近隣小中学校への出張講座	参加人数	人	①277 (533) ②～④ 200 (138) ⑤2回	①生徒数が増えたと多い担当校がなくなり参加点数は大幅減となった。 ②大勢の子どもたちに参加してもらうため地域センターホールを借りて行った。 ③参加希望者全員を受け入れるために4回実施した。④日時を決めて会議室を半日間開放し、いつでも相談に来られる環境を整えたことで相談者数が増えた。	2
25		②ビブリオバトル(知的書評合戦)の啓発活動と開催サポートを行います。	実施回数	回	0	各校に実施提案したが授業コマ数の関係で実施できなかった。	1

## 西落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
26	20	③中高生の職場体験を行います。	参加者数	人	9 (3)	業務体験だけでなく社会人としてのビジネスマナーの学習や、おはなし会での読み聞かせを体験してもらうなどプログラムを工夫した。	2
27	21	①ぬいぐるみお泊まり会を行い、読書へのきっかけを作ります。	参加者数	人	37 (41)	図書館に泊まっている間、ぬいぐるみが読んだという本を紹介し、読書のきっかけをつくった。	2
28		②新宿子育てメッセにて子ども読書活動の普及啓発を行います。	子育てメッセ参加	—	—	子育てメッセにて子育て支援事業を紹介した。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
29	24	①情報探索講習会を開催します。	参加人数	人	27 (15)	タブレット端末を使った初級講座だが毎回多くの参加応募がある。	2
30		②SNSで情報を発信します。	情報発信回数	回	3	SNSを利用して情報発信を行った。	2
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
31	28	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	アンケート実施	回	21 (20)	イベントアンケートを実施し結果を講師にも公開してよりよい講座づくりに役立てている。	2
32	30	①防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	訓練回数	回	2 (1)	危機管理マニュアルに従い個人情報保護士研修と防災訓練を実施した。	2

※空調更新工事のため、平成29年10月23日(月)～平成29年11月24日(金)は休館。

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①障害者サービスと障害児教育の常設展示や、闘病記と介護をテーマとした資料の収集及び常設展示を継続して行います。	テーマに基づく図書収集および別置	冊	792 (714)	継続事業として年々資料を充実させた。障害をテーマにした書籍や障害がある方の著作等を収集し、常設展示とした。同じ棚で、本とともに関連するパンフレットや冊子になった情報提供を行った。	3
2	3	①マルチメディアDAISYに収録された絵本、音声付電子書籍がタブレットで体験できます。	マルチメディアDAISYの収集と周知活動	資料点数	マルチメディア81 他1	マルチメディアDAISYに収録された絵本、音声付電子書籍をタブレットに搭載し、電子書籍を体験できるようにした。マルチメディアDAISY教科書のサンプルを提供し、学習障害児への内容紹介と体験指導を行った。また、新宿区発行の「新宿と庭園」は戸山図書館で電子化し、問い合わせに對しいつでも体験閲覧できるようにした。	4
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
3	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、図書館の利用案内をLLブックとして製作。他にも検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	障害の違いによる合理的配慮を行う	—	—	筆談ボードや日本語版・英語版のコミュニケーションボードを活用したコミュニケーションの多用、今年度はさらに図書館の利用案内をLLブックとして製作し、ロービジョンや外国人にも対応した。他にも検索等の補助など、図書館利用の工夫を行った。	2
4		②外国語で書かれているテーマ別パンフレット・外国人が暮らしやすいよう案内した行政パンフレットを収集し、活用します。	国籍、障害の有無、年齢を問わない情報支援の均等化	通年	—	多言語パンフレットの収集 ①外国語で書かれているテーマ別パンフレットを収集した。 ②外国人が暮らしやすいよう案内した行政パンフレットの収集し、必要に応じて活用した。	2
5		③日本点字図書館・日本リハビリテーション協会をはじめとした近隣の団体や国立国会図書館・サビエ図書館との連携、情報交換を行い、協働を図ります。	的確でグローバルな情報支援	①回 ②回 ③回 ④ダウンロード	①6 ②3 ③6 ④6,515 (-)	①日本点字図書館等の近隣の団体との連携、年6回の情報交換を行い協働を図った。 ②日本リハビリテーション協会との連携により、小学校の教科書サンプルのマルチメディアDAISYの収集、利用促進を図った。 ③日本ライトハウス・伊藤忠商事記念財団と情報交換でサービスの向上を図った。 ④国立国会図書館へ音訳とテキストデータを提供した。	4
6		④ラジオ日本「わたしの図書室」のDAISY版の貸出サービスを行います。	製作件数 貸出点数	件 点	35 (-) 123 (-)	寄贈していただいた朗読音源をDAISY編集し、35作品を所蔵したところ、予想以上の貸出となった。	4
7		⑤拡大読書機やよむべえを設置し、利用促進を図ります。	利用案内と周知	通年	—	利用案内等で周知を行った結果、拡大読書機は定期的に利用した。	2
8		⑥対面朗読を行います。	件数	件	95 (105)	要望のあった方すべてに対応することができた。年間を通してコンスタントに対面朗読を行うことができた。	3
9		⑦DAISY・マルチメディアDAISYの利用促進に努めます。	利用周知	通年	—	声の図書館だよりにてDAISY図書の利用促進を行い、カセット利用からの転向を勧めた。新機種機器の利用案内は個別対応で操作方法を教えた。	3
10		⑧音声による図書館報「声の図書館だより」を発行します。	発行回数 配布数	回数 配布数	6 (16) 351 (353)	新着資料、書評の案内、イベント案内等の図書館情報を音声版で年6回提供した。それにより新たなリクエストにつながった。	3
11	⑨障害者サービスバリアフリー映画会等を開催します。	国籍、障害の有無、年齢を問わない情報支援の均等化	回 人	①1(2) 60(104) ②4(-) 108(-)	①企業のCSR活動の協力により、副音声と日本語字幕スーパー映画会で、視覚障害や聴覚障害のある方も一緒に楽しむことができた。 ②視覚障害の方々を読み手になる朗読会を4回開催した。	3	

# 戸山図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
12	8	⑩ユニバーサルデザインのコミュニケーションボードを作成します。	利用周知	通年	—	日常的に一目で内容を理解でき、対応できるように分かりやすい図、イラストで表現した。要望のあった区内他館へもデータの提供を行い、だれでも図書館の利用ができるようにした。	3
13		⑪朗読ボランティア団体を支援し、東京女子医科大学病院附属病棟と保育所への出張お話を実施します。	出張回数 参加人数	回 人	24 295	毎月1回ずつ出張お話をしていたが、今年度から毎月2回ずつに増やした。体調を考え、その日の子どもの様子をしながら対応した。協働体制をとっていたボランティア団体からスタートしてすぐに辞退があったが、図書館スタッフが積極的にすべてを行うことで、きめ細かな対応を取ることができた。	4
14	10	①早稲田大学生企画講座①「カレンダーから見る日中の伝統文化」、②「防災」を開催します。	回数 参加人数	回 人	2 (2) 41 (92)	学生には図書館が行う生涯学習がどのようなものか企画実践してもらい、参加者には斬新な企画を楽しんでもらうことができた。カレンダーから見る日中の伝統文化は、中国の影響を受けた日本の歳時記を理解し、防災では避難所運営をゲーム形式で行った。	2
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
15	12	①新春「初笑」戸山寄席を開催します。	参加人数	人	86 (95)	真打桂扇生の独演会、新年にふさわしいめでたい演目で賑わった。	2
16		②プロ演奏家による「春クラシックコンサート」を開催します。	参加人数	人	100 (96)	世界でも活躍する若き演奏家たちのカルテット「雅」の解説付き演奏会。本格的な弦楽四重奏でクラシックの演奏を楽しんだ。	2
17		③大人のための工作オリジナル手帳作り講座を開催します。	参加人数	人	20 (9)	元編集者を講師に、参加者全員が22工程に及ぶ本格的糸綴じオリジナル手帳を製作した。	3
18		④戸山クラシックシネマDVDや16ミリ映画会を開催します。	参加人数	回 人	7 (4) 446 (188)	名作の定評がある映画を上映、映画が製作された時代背景や監督や俳優の生きざまや撮影秘話などの解説を加えた。	3
19	13	①ボランティア団体「こうばこの会」による文学作品朗読会を行います。	参加人数	回 人	4 147 (92)	健全者と障害者というバリアをなくして、夏には怪談話の会を開催し、年4回の朗読会を行った。	3
		②国立国際医療研究センターと連携し、医療セミナーを開催します。	参加人数	回 人	2 63 (53)	国立国際医療研究センターと連携し、専門の医師による医療に特化した講演会を2回開催した。テーマは要望が多かった心の問題と腰痛をメインとした。	3
		③ニュース性のあるタイムリーなスポット企画として時事展示を行います。	展示回数 展示点数	回 点数	34 (27) 1,897 (1,854)	「ニュース性のあるタイムリーなスポット企画」展示を行い、タイムリーな学習機会を提供した。保健所と連携、健康をテーマにした。回数は34回、他、毎月テーマを変えた文庫展示は12回(冊数未集計)行った。	3
		④身近な法律や経済問題をテーマにした講演会を行います。	参加人数	回 人	3(3) 78(25)	暮らしの講座として相続や遺言状、終活やニュース性のある社会問題などをテーマにしたセミナーを行った。	3
		⑤地域・世相・ブーム・歴史などのテーマや、ニュース性のあるタイムリーな展示を行います。	展示回数	回	10 (27)	地域・世相・ブーム・歴史・文学・芸術・スポーツなどの多様なテーマの展示を行った。展示回数を減らし、その代わりに1回当たりの展示期間を長くとり、より多くの方に手に取っていただく工夫をした。	3
20	14	①多言語での子ども向けやゲーム等を取り入れたイベントを開催し、日本で暮らす外国人との交流イベントを開催します。(外国語お話し会と一緒に開催)	回数 参加人数	回 人	4 (8) 146 (182)	楽器を使ったり、歌をうたったり、その国の子どもたちの遊びを再現、ゲームを楽しんだりした。保護者向けにその国の教育事情も開設した。大人だけの参加もあった。	2



29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
21	14	②外国語のおはなし会を行います。	回数 参加人数	回 人	4 (8) 134 (182)	ネイティブスピーカーと日本人のペアで2か国語での読み聞かせをした。	2
22	15	①生涯学習館まつりに参加し、親子向けイベントを行います。	参加人数	人	48 (50)	地域交流のイベント、昔懐かしい紙芝居を屋外の公園で開催した。年齢を問わず参加していた。	2
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
23	19	①「動物ペーパークラフト」や「クリスマスオーナメント作り」などの工作会を開催します。	企画と参加人数	人	17 (7)	季節感のある工作会を開催、親子でうちわ作りを楽しんだ。	3
24		②人形劇を開催します。	演目と参加人数	人	100 (97)	演目は「三びきのやぎのがらがらどん」予約は1日で満員御礼、親子で満足度の高い観劇会となった。	2
25		③クリスマスおはなし会を開催します。	企画内容と参加人数	人	52 (55)	人気の絵本作家塚本やすし、作家自身の読み聞かせとライブペインティングということで、予約の時点から注目度が高いイベントであった。ペインティングは模造紙に墨汁と筆で行っていた。子ども達はリクエストしたものを描いてもらえるため、積極的に「めがね」や「忍者」など様々なリクエストをしていた。計6枚の模造紙に描いていただき、じゃんけんて勝った人はそのイラストをプレゼントとして持ち帰ることができた。	2
26		④学習コンテンツを使って、中・高生のグローバルな学びへの興味関心を深め、知的好奇心を刺激するワークショップを行う。	企画内容と人数	人	14 (-)	海外の大学及び通信会社制作の英語の映像コンテンツを利用し、結晶型ワールドカフェの手法で行った参加型ワークショップ。英語と日本語で学ぶ「住宅に“頭脳”を持たせる？スマートホームを考えよう！」フランスの通信とIT起業のグローバルネットコンテンツで学ぼう！知的刺激が高く、図書館での学びの満足度アップにつながった。	3
27	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習個別相談会 ③百科事典講座 ④JAL整備工場の見学 ⑤理科実験教室 ⑥JICA地球広場の見学 ⑦新聞社見学	参加人数	人	①434 (635) ②-(13) ③3(7) ④54(-) ⑤26(28) ⑥46(33) ⑦58(13)	担当学校の割り振りが変わり、各館の参加者は少なくなり、指導を手厚くできるようになった。「調べ学習」に関する個別相談希望はあまりなかったが、8月になると毎日一人のペースで相談を受けた。関連企画イベントはいずれも参加者は昨年より増えた。作品内容はレベルアップし、底上げができた。	3
28	21	①病気で入院している子どもたちをはじめ、近隣の保育園、幼稚園等への出張おはなし会を行います。	お話し回数 参加人数	回 人	59(33) 659 (505)	病院保育園、病院の小児病棟での読み聞かせは、すべて消毒した本を持参し、絵本を中心に読み聞かせを行った。地域との連携、および交流を深めることができた。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
29	24	①ウェブ上で公開されているデータベースの使い方を教えます。	利用促進	通年	—	レファレンスサービスの精度向上のため、データベース利用促進を務めた。	2
		②音声資料等をテキストDAISY化し、製作期間の短縮化、製作コストの削減を図ります。	テキストDASYの製作件数	件	4 (2)	読み変換をスキャナでのテキスト化を進めることで製作期間を短縮し、コストを抑えることを実践した。製作したデータはサビエ図書館と国立国会図書館に提供した。どちらもダウンロードされ、利用につながった。	3

# 戸山図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>VI 図書館環境の整備</b>							
30	28	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	利用者の要望調査および満足度向上の一環	回	36 (-)	イベントごとの利用者のご意見・ご要望・ご指摘に対して迅速に対応し、詳細な処理等の情報は全スタッフで共有した。年度末に行う利用者満足度調査は毎年満足度が増したが、分析をおこたらず、次のステップへの糧とした。	2
31		①防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	防災意識の強化および、災害時の図書館利用者の安全確保の手順の把握徹底	回	2 (3)	牛込消防署の社会人訓練参加と住民と一緒に防災訓練を実施した。高齢者が多い地域のため、図書館と生涯学習館が主導となり、新宿区及び本社作成危機管理マニュアルの確認を行い、確実に動けるようにした。	2
32	30	②書籍消毒機・アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	利用案内と周知	開館日数	286 (293)	①書籍消毒器は親子の利用が当たり前のように利用されるようになっている。図書館としても病院への出張お話しには必ず使用した。 ②年間を通して、利用者のアロマの爽やかな香りに満足度が高まっている。29年度は、システム変更があり1月の開館日数減となったため、消毒器、アロマともその分を計上しない。	2

## 北新宿図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①外国人の多く住む地域にふさわしい外国語資料を充実させるとともに、多言語による館内表示を行います。	外国資料の収集した点数	点	66 (68)	多文化共生地区にふさわしく、外国語資料を充実させ、多言語による館内表示を行った。	2
2	2	①柏木地区に関する資料や、地域の団体とその活動に関する情報を積極的に収集し提供します。	地域資料の収集した点数	点	90 (140)	新宿区、柏木地区に関する資料を積極的に収集・提供した。地域の団体やその活動に関する情報を積極的に収集・提供した。	1
<b>II 区民を支える図書館</b>							
			指標	単位	数量	実績	
3	6	①多く寄せられるレファレンス質問や地域をテーマにパスファインダーと参考調査資料の使い方を案内したパンフレットを年3回・各100部作成します。	パスファインダー作成回数	回	2 (2)	小学生低学年・中学年・高学年と中学生・高校生向けのパスファインダーを作成した。	2
		②新聞各紙の書評を毎月壁に掲示して、読書情報を提供します。	書評の提供回数	回	12 (12)	毎月書評を掲示し、読書情報を提供した。	2
4	7	①利用者の関心のあるテーマや紹介したい資料群をテーマ付けし、ブックリストを作成して提供します。	①爽快な朝のためのブックリスト ②豊潤な夜のためのブックリスト	点	①150 (150) ②150 (150)	利用者の関心のあるテーマや紹介したい資料群をテーマ付けし、ブックリストを作成して提供した。	2
5	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	ユニバーサルマナー検定の再確認	—	—	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、遵守するよう努め、必要な措置を講じた。	2
6		②館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスの拡大を図ります。また、高齢者及び外国人利用者にわかり易い案内を行います。	①家庭配本回数 ②家庭配本貸出点数	①回 ②点	①57 (61) ②289 (248)	家庭配本の紹介と利用促進をした。高齢者の利用が多いので、資料の案内など必要に応じて丁寧に行った。外国人利用者にわかり易い案内を行った。	3
7		③外国人が日本の文化に触れる機会を設け、日本への理解を深めるとともに、地域生活の支援をします。	和菓子作り体験	人	15 (72)	和菓子作り教室を開催した。昨年度は5回開催したが、今年度は1回のみ開催とし、代わりに講演会を多く開催した。	2
8	9	①柏木地区協議会が主催する「きずなカフェ」にミニ図書館を開設します。	ミニ図書館の提供回数	点	240 (240)	柏木地区協議会が主催する「きずなカフェ」にミニ図書館を開設した。	2
9		②北新宿第二地域交流館が行っている「脳トレ」で朗読会を開催します。	脳トレ講座参加人数	人	190 (216)	北新宿第二地域交流館で開催している脳トレ講座に出張し、朗読をした。	3
10		③北新宿生涯学習館等併設施設合同のまつりに参加し、リサイクル図書を提供します。	リサイクル本の提供件数	点	98 (167)	北新宿生涯学習館等併設施設合同のまつりに参加し、リサイクル図書の提供を行った。昨年度より提供件数を減らした理由は、図書館内でのリサイクル本を確保するためである。	2

# 北新宿図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>							
11		①季節をテーマにした朗読会を行います。	朗読会の参加人数	人	①22 ②17 ③24 ④21  84 (67)	北新朗読会を開催した。 ①第11回北新朗読会～無月～ ②第12回北新朗読会～長月～ ③第13回北新朗読会～師走 ④第14回北新朗読会～弥生～	3
12		②時期的に求められているテーマをタイムリーに設定して講演会を開催します。	講座の参加人数	人	①30 ②48 ③50 ④26 ⑤32 ⑥33 ⑦48 ⑧25 ⑨55  347 (160) 6回開催	多文化共生を考えたテーマを設定し、講演会を実施した。 ①中国人エリートは日本をどう見ているのか ②黒田福美の私の韓国ぐるぐる ③ドラマより面白い朝鮮王朝の歴史 ④写真で伝える世界、東北の今 ⑤ミャンマー語を通じて、文化に触れる ⑥日本と違う韓国のビックリ ⑦ハンブルから韓国文化を学ぶ ⑧移動する中国朝鮮族 ⑨Storyのある韓国地方旅	3
13		④製本工作会を行います。	工作会の参加人数	人	①10 ②10 ③10 ④10 ⑤2  42 (39)	他様な本の作り方を学ぶ中で本に触れることを楽しめるようになってもらう工作会を行った。 ①和とじのノートをつくろう ②布貼りのカバーをつくろう ③革の本をつくろう ④本格的なハードカバーの本をつくろう ⑤アルバムノートをつくろう	2
14	13	④陶芸体験やアクセサリ製作する北新ハンドメイド講座を行います。	講座の参加人数	人	①12 ②12 ③12 ④12  48 (-) 開催無し	アクセサリを作る北新ハンドメイド講座を開催した。 ①テラリウムをつくろう ②羊毛フェルトのマスコットをつくろう ③アロマ石けん&アロマワックスバーをつくろう ④UVレジンでお花のブローチをつくろう	3
15		⑤柏木地域センターのオープンカフェに参加して、出張図書館の開設と工作会を行います。	工作会の参加人数	回	1 (2)	柏木地域センターのオープンカフェに参加し、出張図書館の開設と万華鏡作成工作会を行った。また、柏木フレンドパークでも同様の工作会を行った。	2
16		⑥落語会を開催します。	落語会の参加人数	人	①30 ②31  61 (58)	北新宿寄席を開催した。 ①第3回北新宿寄席(代わり目他) ②第4回北新宿寄席(幾代餅他)	2
17		⑦韓国料理を中心とした料理教室、韓国語講座を行います。	講座の参加人数	人	①10 ②10 ③12 ④12  44 (7) 1回開催	韓国薬膳料理教室を開催した。 ①夏にとりたい野菜を使って薬膳キムチ作り ②秋にとりたい身近な食材を使って簡単薬膳料理 ③冬にとりたい食材を使ってアンチエイジング料理 ④春にとりたい野菜をつかって薬膳ジョン作り	3

## 北新宿図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
18	14	①全国の旅先を紹介する資料を収集して提供するとともに、利用者からの紹介も受け付けます。	韓国のフリーペーパー設置回数	回	3 (4)	全国の旅先を紹介する資料を収集して提供した。利用者からも紹介資料の提供を受け付けた。また、韓国のフリーペーパーを新たに設置した。	2
19		②図書館だよりを発行し、図書館が行う事業等をお知らせします。	図書館だよりの発行回数	回	12 (12)	図書館を身近に感じてもらえるような図書館だよりを毎月発行し、図書館が行う事業等を周知した。	2
20	15	①ボランティア体験講座を開催します。	ボランティア体験講座参加人数	人	13 (2)	図書館サポーターとして活動できるようにボランティア体験講座を開催した。	4
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
21	17	①定例おはなし会のほか、土曜名作おはなし会、外国語おはなし会を行います。	①おはなし会回数 ②外国語おはなし会回数	回	①93 (85) ②3 (4)	おはなし会・ちいさい子向けおはなし会・土曜名作おはなし会を行った。ラポ日本語教育研修所の協力により外国語おはなし会を開催した。	3
22		②子どもの読書週間と秋の読書週間に読書意欲を引き出すパネルや缶バッジを作成します。また、児童オリジナルブックリストを作成・配布します。	①北新宿図書館おすすめBOOKリスト ②中学生・高校生へ贈る北新宿おすすめブックリスト	点	①150 (150) ②150 (150)	調べる学習に役立つブックリストと中学生・高校生へ贈るブックリストを作成し配布した。4/23～5/12子どもの読書週間と、10/27～11/9日秋の読書週間に配布した。	2
23	18	①人形劇を開催します。	参加人数	人	33 (57)	子どもたちに名作の人形劇を鑑賞する機会を設けた。 演目:「ジャックと豆の木」 昨年度より参加人数が減っている理由は、申込は50名を超えていたが当日キャンセルが多数発生したためである。	2
24		②映画会を開催します。	参加人数	人	①29 ②18 47 (46)	中央図書館所蔵の映画フィルム、映写機を使用して子ども向けの映画会を行った。 映画タイトル: ①エリックカールコレクション1・がんばれスイミー ②ねずみくんのチョコッキ参加人数	2
25	19	①季節に応じた各種イベントを開催します。 ①「こいのぼりのめりえをしよう」 ②「七夕のたんざくを書こう」 ③「夏休みかかくあそび」 ④「ハロウィン工作会」 ⑤「クリスマス工作会」 ⑥「正月カルタ大会」	参加人数	人	①9 (2) ②46 (34) ③16 (16) ④25 (24) ⑤21 (26) ⑥23 (25)	①こいのぼりのめりえをしてもらい完成した絵は、館内に掲示した。 ②七夕用の笹竹を購入し、短冊にお願いを書いて飾った。 ③空気で電気をおこしてオルゴールを鳴らす装置を作った。 ④ハロウィンに関連する工作会を行った。 ⑤クリスマスにちなんだ子どもが喜ぶものを工作をした。 ⑥お正月の伝統的な遊びを楽しんだ。	2
26		②お誕生日カードを配布し、読書意欲を引き出します。	読書手帳の配布	—	—	読書手帳に変更して配布した。	3

## 北新宿図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
27	20	<p>①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。</p> <p>①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。</p> <p>②調べる学習コンクール相談会</p> <p>③東京大学宇宙工学部航空宇宙工学研究室の訪問見学</p> <p>④調べてまとめるブックの配布</p>	<p>①レプリカの作成個数</p> <p>②相談会の実施回数</p> <p>③見学人数</p> <p>④配布冊数</p>	<p>①回</p> <p>②回</p> <p>③人</p> <p>④回</p>	<p>①1 (1)</p> <p>②3 (3)</p> <p>③24 (29)</p> <p>④2 (2)</p>	<p>①調べる学習コンクールに参加します。担当学校への説明会、作品収集、返送などを行った。表彰、作品集の印刷等、他図書館と連携して行った。</p> <p>②講師を頼んで夏休みに一週ごとステップ学習を行った。</p> <p>③東京大学宇宙工学部航空宇宙工学研究室を訪問見学した。</p> <p>④児童バスファインダーを作成・配布した。</p>	2
28		<p>②幼稚園・小学校・子ども園・子ども家庭支援センターへの訪問おはなし会、幼稚園児・小学生が来館するおはなし会を行います。</p>	出張おはなし会回数	回	9 (13)	北新宿子ども園の要請に応じて出向き、おはなし会を行った。 また、北新宿子ども家庭支援センターの要請に応じて出向き、年齢ごとのサークルや学童クラブでおはなし会を行った。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
29	23	<p>①地域館としてのホームページの作成を進めます。</p>	ホームページ充実への協力	—	—	中央図書館のコンテンツの充実に合わせ、利用者からのホームページに関するご意見を報告する等の協力をした。	2
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
30	28	<p>①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。</p>	満足度調査アンケート回答件数	件	118 (137)	利用者アンケートを実施し、ニーズを取り入れ次年度の計画づくりに役立てました。	2
31	29	<p>①職員研修の受講内容の情報共有を図ります。</p>	研修報告書のファイリング	—	—	職員が受講した研修を基に、職員間で情報共有を行いました。	3
32	30	<p>①防災マニュアルを点検し、併設施設と合同防災訓練を行います。</p>	新宿区立新宿子ども家庭支援センター等自衛消防訓練	年	2 (2)	北新宿子ども家庭支援センター等併設施設と連携し避難訓練を行いました。	2

中町図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①神楽坂に関連する小説、エッセイ、史跡、名所、施設に関連する資料(能楽、関孝和、宮城道雄、鍋木清方、古今亭志ん朝、東京理科大学など)を収集します。	地域資料受入数	点	137 (132)	「帰ってきた神楽坂本」、「神楽坂純愛」、矢来能楽堂関連本などを購入、また小説新潮の「神楽坂怪談」特集号を図書扱いで地域資料に所蔵するなど、地域資料の収集に努めた。	2
2		②地域資料コーナーを、より見やすく、より魅力的にリニューアルします。		-	-	地域コーナーを拡充し、「神楽坂」「新宿区」「東京都」の見出しを大きくわかりやすく設置した。若干数ではあるが資料の面出しもできるようにした。	3
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
3	6	①子育て支援の関連本を集めた、「子育て支援コーナー」を新設します。		-	-	児童コーナーの一角に子育て支援コーナーを新設し、598類、599類を中心に37類、596類の子育て関連本を加えて75冊を別置登録して設置した。	3
4		②図書館だよりにレファレンス事例を掲載してレファレンスの活用を促します。	発行回数 発行部数	回	12 (12) 4,800 (3,600)	図書館だよりで過去に寄せられた質問を取り上げ、調べ方を紹介した。国立国会図書館や都立図書館の統合検索など、セルフレファレンスの役に立つ情報を盛り込んだ。	3
5	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。		-	-	全員がサービス介助士の講座を受講し、資格を取得した。活字が読みにくい方にDAISYをご紹介したほか、視覚障害のある方の登録等も必要な支援を行った。エレベーターがない地下なので、インターホンを通して要望があればスタッフが荷物を運んだり予約本の受け取りを代行したりして対応している。	3
6	9	①地域の施設と連携して、リサイクル図書を提供する「中町まちかど図書館」を実施します。	設置場所	箇所	2 (0)	6月に高齢者福祉施設神楽坂、8月に牛込筆筒地域センターに書架を設置させていただき、各20冊を設置して開始した。偶数月の館内整理日に本の入れ替えを行うほか、図書館だよりや行事のチラシも設置した。	3
7		②地域の大学と連携して児童向け算数教室を行うとともに関連展示を行います。	参加人数	人	【1回目】 53人 (57) 【2回目】 29人 (11)	プログラミングをテーマに実施、11月にの1回目は人気が高く、参加できなかった方があったので、3月も同じ内容とした。連携企画として、大学院生と近代科学資料館学芸員に、「理科と算数が好きになる本」をテーマに2回に渡りおすすめの本を紹介していただいた。	3
<b>III 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
8	12	①映画会(一般向け、児童向け各2回)を開催します。	映画会 参加人数 一般 児童	人	【一般】 36 (38) 【児童】 81 (124)	【一般】9月に洋画「シェーン」、3月に邦画「おくりびと」を上映した。 【児童】6月に「10びきのかえるのなつまつり」「ともだちや」12月に「夢の星座」「ムーミン」を上映した。6月は天候が悪く、参加者が少なかった。	2
9		②子どもから大人まで楽しめる映画会を開催します。	参加人数	人	22 (-)	8月に、牛込筆筒地域センターを借用して、「やさしい本泥棒」を上映した。初めての会場なので事前に機材一式を借り受けて下見と試写を行った。	2
10		③外部講師を招聘して、歴史講座を開催します。	参加人数	人	25 (2)	2月に「牛込神楽坂の歩み～江戸の町から東京の町へ～」と題して、地域にお住まいの郷土史研究家を招き、牛込神楽坂地域のなりたちについて話していただいた。参加希望者が多く定員を増員した。	3
11		④新宿歴史博物館と連携して、史跡散歩を開催します。	参加人数	人	14 (-)	新宿歴史博物館と予定が合わず、地域のNPO法人にガイドを依頼した。地元ならではの知識を盛り込んだ内容だった。	2

# 中町図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
12		⑤文学作品の朗読会を開催します(3回連続)。	参加人数	人	161 (162)	平成26年度からの朗読者を迎えて、今回は「真夏の怪奇」と題して開催した。	2
13		⑥落語会「中町寄席」を開催します。	参加人数	人	34 (32)	平成27年度・28年度に引き続き、文学作品をテーマとした落語を開催した。図書館スタッフが作品等について解説も行った。日中は上階の児童館の足音が響くため、今回は初めて6時半開始の夜間開催とした。終演は図書館の閉館後となったが、円滑に実施できた。	3
14	12	⑦古書の稀覯本(希少価値の高い古書)を展示します。	古書の稀覯本展示点数	点	4 (3)	本社の協力を得て、古書部所有の西洋稀覯本の中から、明治大正期の日本の様子が分かるものとして日常生活を写した写真帖4点を借り受け展示した。	2
15		⑧絵本の原画を展示します。	実施回数	回	1 (-)	神楽坂地域在住の絵本作家の原画を児童コーナーに展示した。会期の前半と後半で展示する原画を入れ替えた。会期中に作家を迎えてギャラリートークも行った。	2
16		⑨大人を対象に、図書館員が選んでセットにした3冊程度の本を、題名を隠して「本のお楽しみ袋」として貸し出します。	貸出しセット数	セット	17 (-)	前年に実施した子ども向けの「本のお楽しみ袋」が好評だったため、大人向けにも実施した。読書週間に合わせ、「本の玉手箱」と題して黒の包装紙に赤い紐をかけて展示、予備も合わせ17セットが貸出となった。	3
17		⑩読書支援の一環として、保護者のための絵本選び講座を行います。	参加人数	人	子ども7名、大人10名 (-)	「自分の子どもにどんな絵本を選んだらいいか」をテーマに、読み聞かせのベテラン講師を迎えて開催、絵本の選び方や読み聞かせの方法を紹介していただいた。	2
18	13	⑪大人のための朗読会の演者を講師に迎え、朗読を学ぶ会を開催します。	参加人数	人	15 (-)	朗読会のアンケートで「自分も読んでみたい」という声が散見されたので、「朗読体験」として1回完結の講座を12月に実施した。アンケートでは「1回完結2時間の講座で参加者15名は多い」という声があった。次年度は3回連続講座として企画する。	2
19		⑫地域行事「まち飛びフェスタ」に参加し、リサイクル図書の提供など行います。	参加回数	回	1 (1)	今年の「神楽坂まち飛びフェスタ」は、漱石山房記念館の開館(9月24日)と時期が近いこと、漱石生誕150年をテーマにしていたことから、漱石と神楽坂の関わりをテーマとした展示を実施した。毎年配布しているオリジナルしおりも漱石をテーマとしたものを4種類作成した。また、まち飛びフェスタ実行委員との情報交換も行った。	3
20	14	⑬本をテーマとした地域イベントに参加し、おはなし会などを行います。	参加回数	回	— (1)	今まで参加していた地域イベント「レラドビブリオテック」の開催や、古本市などの企画もなかったため、地域行事への参加はできなかった。	—
21		⑭利用者からのおすすめの本とコメントを図書館スタッフの感想コメントとともに展示する利用者参加型展示「わたしの本棚」を行います。	展示点数	点	17 (9)	おすすめの本の募集を通年とし、館内に応募用紙と回収箱を常設した。おすすめの本は図書館スタッフが分担して読んで、スタッフのコメントも付けて展示した。	2
22		⑮利用者懇談会を開催します。	参加人数	人	9 (3)	今年度は小さい子向けおはなし会に引き続きの形として、3月に実施した。幼い子どもを持つ保護者の立場からの有意義な意見を伺うことができた。	3



29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価						
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績							
23	14	⑤昔と現在の写真で地域の移り変わりを知る「写真で見る新宿」を開催します。	実施回数	回	1 (-)	近隣の商店から1点、近隣の愛日小学校から9点、新宿歴史博物館より、神楽坂地域の古い写真10点のデータを借り受けた。これらのうち撮影地点が推測できる9点を選び、現在の写真を撮影し、新旧の写真を並べて展示した。好評に付き会期を延長して展示した。	2						
<b>IV 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績							
24	19	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②出張授業 ③社会科見学 ④調べる学習ガイダンス	①応募作品数 ②実施回数 ③実施回数及び参加人数 ④参加人数	①点 ②回 ③回・人 ④人	①526 (554) ②3 (5) ③2 (2) 35 (46) ④14 (16)	①担当した4小学校の応募数は区立図書館全館の中で最多の応募数となった。全国コンクールでは優良賞2点奨励賞2点と優秀な成績を収めた。平成29年度は調べる学習コンクールの幹事館であり、主に表彰式を担当した。会場と式典の形式に変更があったが、無事に遂行することができた。 ②小学校4年生と小学校2年生を対象に出張授業を行ったりもした。 ③7月にJICA地球ひろばと、出版社を見学した。参加希望者が多く、定員を増やして実施した。 ④「調べる学習お助け隊」と題してガイダンスを実施した。1回目をテーマの選び方、2回目を調べ方、3回目をまとめ方として4～5名を対象として行った。	4						
25													
26								②工作会を開催します。	参加人数	人	①21 (14) ②16 (23)	8月に使用済みプリンカップ利用のリサイクル工作「風鈴をつくろう!」、12月に振ると雪が降るように見えるカードをつくる「クリスマスカードをつくろう!」を実施した。	3
27								③人形劇を開催します。	参加人数	人	55 (63)	牛込笹笹地域センターの大きな会場で開催したが、天候も良くなかったためか、参加が55名にとどまった。	2
28								④赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できるよう、他の利用者に赤ちゃんの泣き声などに配慮していただく時間「赤ちゃんタイム」を設けます。	実施回数	回	21 (20)	赤ちゃんタイムの来館者は主として、この時間帯の中心に行っている「小さい子向けおはなし会」に参加するための来館だが、おはなし会終了後に交流が見られることもある。3月に実施した利用者懇談会で告知したことが来館につながったとの声もあり、効果が感じられた。平成30年度からは毎週火曜日の同時時間帯(10:30～12:00)を「赤ちゃんタイム」として告知を行うこととした。	3
29								⑤子ども読書スタンプラリーを開催します。	カード配布枚数	枚	494(514)	スタンプラリーは夏休みの恒例行事である。参加者数は昨年より若干少なくなったが、多くの子どもたちが参加してくれた。平成29年度は、「なかもっち」(中町図書館の公式キャラクター)をモチーフにしたシールを景品とし、スタンプ10個達成者は20名で、昨年の18名を上回り開始以来最多数となった。	3
30								⑥幼児から小学生を対象に、おはなし会を行います。	実施回数 参加人数	回 人	46 (47) 593 (822)	毎週水曜日はスタッフが実施し、第四水曜日は読み聞かせ実践講座修了生2名が児童担当と組んで行った。おはなし会参加10回達成者の賞品を手作りのポンポンにしたところ好評だった。	2
31	⑦乳幼児向けおはなし会を行います。	実施回数 参加人数	回 人	21 (20) 248 (286)	第一・第三火曜日に、ボランティアによる小さい子向けのおはなし会を行った。ボランティアは計5名となった。	2							

# 中町図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
32	19	③子ども向けオリエンテーション(小学生を対象に、本の分類や探し方、OPACの使い方を説明)を開催します。	実施回数 参加人数	回 人	2 (1) 4 (1)	平成30年1月の図書館システム更新に伴い、子ども向けにOPACの使い方を案内する講座「OPACを使ってみよう!」を2回実施した。	2
33		④幼児から小学生を対象に、図書館員が選んだ3冊程度の本を、題名を隠して「本のお楽しみ袋」として貸し出します。	貸出しセット数	セット	20 (20)	子ども読書の日関連行事として実施した。各スタッフが自分で考えたテーマに沿って3冊の本を選び、内容紹介のカードを作成・掲示していただく形とした。今回は利用者との交流をめざして感想を書くカードを同封したところ、2枚の提出があった。	3
34		⑩小学生対象に本の整理や装備、探し方など図書館員の仕事を体験する「としよかん職場体験」を行います。	参加人数	人	8 (10)	今回が4回目の事業で、「なかまち調査隊」と題して実施した。スタッフ手作りの「調査手帳」に書き込む形で図書館での調べものに取り組んだり、館内ツアーや、本のカバーかけを行ったりした。定員の10名の申し込みがあったが、2名のキャンセルが出た。	3
35		⑪英語絵本のおはなし会を行います。	参加人数	人	79 (83)	偶数月の原則第四土曜日に実施。私立小学校での英語教諭経験者と、助手の2名で、英語の絵本、詩、歌、遊びや英語圏の国々の風習なども取り入れておはなし会を実施した。	2
36		⑫複合施設や近隣の中町児童館と連携し、出張おはなし会を実施します。	実施回数 参加人数	回 人	17 (20) 526 (467)	中町児童館で2回、北山伏児童館で9回、学童クラブを対象に6回実施した。先方の都合で学童クラブ対象の出張おはなし会の回数が少なくなった。3月には、近隣の施設保育園からの要請で0・1歳児と2・3歳児対象に行った。	3
37		①中学校の司書・図書委員と連携して、おすすめ本とおすすめコメントを中町図書館内に展示するとともにブックリストを作成・配布します。	応募点数 中学校配布点数	点	209 (290) 480 (500)	新宿区立牛込第一中学校・牛込第三中学校の全校生徒からコメント209点をいただき、そのうち100点を選んでブックリストを作成した。また、コメントが寄せられた本で自館所蔵のものについては、ミニ展示も行った。	3
38	②近隣中学校と連携し、中学生が作成した本のPOPや本の帯を活用した展示を行います。	展示点数	点	12 (-)	新宿区立牛込第三中学校に協力を仰ぎ、授業で作成した本の帯を借り受け、当該の本とともに展示した。	2	
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
39	24	①デジタル絵本やAR(※)技術などICTを活用したイベントを開催します。	参加人数	人	10 (5)	印刷株式会社との協力を得て、AR(拡張現実)技術で現実の風景と美術品を合成した写真を作成するワークショップを愛日小学校で行った。参加者は、今までが一番多かった。	3
40		②Facebookでイベントなどの情報を掲載します。	投稿回数	回	149 (100)	年間を通して新着圖書の紹介、展示の紹介、イベントの紹介などをアップロードした。11月には、算数教室の告知において初めて動画を投稿した。投稿を74件、イベントの入力を75件行った。	3
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
41	28	①利用者アンケートを年2回実施し、ニーズを取り入れて運営に反映させ、次年度の計画づくりに役立てます。	利用者アンケート回答件数	件	①106 (102) ②197 (180)	12月に全館で行う利用者満足度アンケートのほか、7月にミニアンケートを行い利用者のニーズを調査した。	2
42	30	①防災マニュアルを見直し、併設施設と合同防災訓練を行います。	防災訓練の回数	回	2 (3)	防災マニュアルを更新し、スタッフのみの防災訓練(避難経路の確認)と、利用者参加の複合施設全館合同防災訓練を実施した。初めて子ども園内部を通して園庭に避難する形で訓練を行った。	3

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①ビジネス関連資料(区内全域に所在する企業の社史、業界新聞・専門誌など)を積極的に収集し、提供します。	社史、業界新聞、専門誌の収集強化	-	-	常に業界紙は約450種類を確保し、業界紙リストをその棚に準備しておき、利用者にとの様な業界紙があるか、分かり易く、そして利用し易く設置してある。社史に関する約350種類を常設して利用して頂いている。利用者からのビジネス関連資料のリクエストを常に意識し、選書も行っている。	2
2		②増えつつあるビジネスコーナーの資料を整理し、充実したビジネスライブラリーの構築を図ります。	ビジネスコーナーの整理を行い、利用しやすいコーナーとして設置	-	-	新たにコーナーを設置し、ジャンル別に配置し、利用者に活用して頂いた。また、起業関連、カフェ等飲食関連、ビジネスに役立つ英語の本、企業の環境レポート等をそれぞれ常設した。	3
3		③年鑑や政府が提供する統計類を充実します。	年鑑・統計類の充実	-	-	6階にコーナーを設けて開催し、今年度も最新情報の年間や統計類を購入し、更なる充実を図った。	3
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
4	6	①中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会を開催します。	「ビジネス情報支援相談会」の参加人数	人	16 (20)	毎月行っている相談会は、利用者の相談内容にあった中小企業診断士2名から選択しているが、固定した利用者もいるため、違う中小企業診断士の話も伺いたいとの要望がある。今後、中小企業診断士協会に相談し、対応していく。	1
5		②起業・創業・キャリアアップセミナーを開催します。	ファッションに関する最新情報の講座を開催(今年度は、1回の参加平均数で対比)参加人数	人	30 (28)	ビジネス支援講座として今年度初めて開催した。ファッションに関する講座は、余り図書館では行っていないが、近隣にファッション関係の大学などがある事から計画を組んだ。この講座の認知が全くなかった為、直接大学にアポイントを申し込み、先生、生徒への告知お願いする事が出来た。あわせて講師の依頼もし、内容も興味のあるものを用意して頂いた。今回初めて夜18:30からのスタートとした。参加者は、予定をしていた、大学関係者の他、商業施設のバイヤー、アパレルメーカーの方々等、参加者自身が講師が出来るレベルの方が多数参加して頂いた。	4
6	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	差別に対する内容把握と遵守することに努める	-	-	障害のある方でも問題なく利用出来るために、点字本や大活字本を用意して対応した。その他、往来しやすい通路の確保、手書きで会話が出来るように「タブレット」や「コミュニケーションボード」もカウンターに用意し、対応した。車椅子や足の不自由な方へは、従業員用のエレベーターを使い、書架へご案内した。	3
7		②視覚及び聴覚に障害を持っている利用者も参加可能な「バリアフリー映画会」を開催します。	バリアフリー映画会参加人数	人	16 (57)	今年は、バリアフリー映画は、本社の契約上、2館での上映との事であったが、3月に入って急ぎょ開催出来るとのお声が掛かり上映した。広報紙へ掲載が出来なかったが、他の図書館や近隣の養護施設等で周知を図った。参加者から、一度バリアフリー映画を体験してみたかったとの意見があった。	2
8	9	①リサイクル資料の一部を西新宿シニア活動館の文庫に提供します。	他施設への提供	-	-	リサイクル資料の一部を西新宿シニア活動館の文庫に約50冊提供し、地域の皆さんとの交流を深めた。定期的に行われる地域の交流会では、シニア館長とお互いの運営状況について意見の交換を行った。	2

## 角筈図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
9	9	②近隣の養護施設、介護施設などへの出張朗読会を開催します。	福祉ホーム「ひまわりホーム」と「新宿養護学校」への出張おはなし会	人	54 (37)	「ひまわりホーム」に関しては、何度もお声を掛けましたが、先方職員不足により、対応が出来ないとの事で見送ったが、次年度は、必ず職員問題を解決するので、行いたいとお話を頂いている。「新宿養護学校」は、前年1度だけおはなし会を行っていたが、今年は、1学期に1、2年生、2学期に3、4年生と中学生の2回、3学期に5、6年生と合計4回出張おはなし会を行った。オリンピック関連の要望があり、毎回スポーツにまつわるお話を一つ入れ、喜んで頂いた。	3
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
10	12	①角筈寄席(日本の伝統芸能である落語会)を開催します。	寄席独演会開催参加人数	人	62 (56)	毎年11/3開催とした恒例事業で、リピーターも多く予約がスタートすると即満員御礼となるイベントである。今年は、昨年を上回る参加があり、2部構成の落語会を行った。当日の雰囲気を見て、扇生さんが判断していただき、参加者は満足して帰られた。	4
11		②角筈まちあるき(様々な歴史のある角筈地域を専門家と歩く)を開催します。	新宿角筈エリアの探索参加人数	人	23 (14)	早稲田大学と連携し、今年度は玉川上水跡地にまつわる講義の後、笹塚まで探索を行った。途中、立ち止まりながら説明で聞いた内容と照らし合わせたりし、近所にお住いの参加者も初めて知ったと驚くような路地裏を抜けたりと有意義で楽しいまち歩きだった。台風の影響で、雨が降り始めたが、脱落者もなく現地解散した。	4
12		③キネマ角筈と銘打ち、懐かしの映画会を開催します。	キネマ角筈・懐かしの映画会の開催参加人数	人	98 (75)	キネマ角筈として「オズの魔法使い」「シェーン」、地域センターと共催の「カサブランカ」を上映した。どの映画も名作で、常連の方々が来館され、非常に満足して帰られた。課題としては、上映ホールには、80名迄は入れるが、平坦なフロアでの上映なので、場所によっては少し見にくかったと感じた。今後は、50名を基本として映画会を開催することとする。	3
13		④ライフプランセミナー(税金や年金といった地域住民の生活に直結する講座)を開催します。	年金講座開催参加人数	人	7 (18)	社会労務士を招き「年金知ってライフプラン講座」を開催した。講座では年金の基礎から複雑な部分まで、資料とホワイトボードを使用しながら分かりやすく講義が行われ、質疑応答では、参加者の疑問に答えて頂き、役立つ事が出来た講義だった。	1
14	13	①東新宿保健センターと協力し、健康に関する展示を行います。	東新宿保健センターと協力し、健康に関する展示を開催 展示点数	点	94 (94)	今年も東新宿保健センターと共催による「糖尿病」に関する展示を開催した。今年は、糖尿病の病気についてや病院での治療方法等の展示だけでなく、スポーツや食事など関連資料も一緒に展示する事で多くの貸出しがあった。特に、食事予防に関心が高く、女性の利用者の貸出しが多かった。	2
15	14	①区の平和事業に合わせ、戦争と平和、及び人権に関する資料の収集と展示を行います。	展示点数	点	30 (8)	私たちは普段戦争がなぜ起こるのか?など考える機会は少ない。そこで戦争とは何なのか、平和ってなんだろうと読んだ人が色々想像出来る様な本を集めた。貸出点数は、展示冊数を越えなかったが、色々な方々に展示を見て頂く事が出来た。	2
<b>Ⅳ 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
16	16	①子ども読書の日と読書週間に合わせた展示を行います。	4月～5月にかけ読書週間の展示点数	-	-	毎年読書週間に合わせ、展示を開催している。4月は動物を、5月は区立図書館で発行している「クローバー」に掲載している本を展示した。	2

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
17		①こども向け映画会を開催します。	児童専用映画会参加人数	人	76 (114)	12月に冬の子ども映画会「ハッピークリスマス」、3月に春の子ども映画会「ハチャメチャだいさくせん」と題し2度の児童対象の映画会を開催した。上映する題名を決め、その中の4本～6本の短編映画を上映した。作品の間に休憩を挟み、子供達が飽きない様に工夫をした。	2 *
18		②人形劇(年1回)を開催します。	人形劇講演会参加人数	人	67 (86)	今回は、2作品の上演で、緊張感のある場面や笑いが出る場面などがあり、影絵を使った演出では、劇の中に入り込んでいる様子も見受けられた。プロの劇団は、声量が全く違い一つ一つの言葉に皆圧倒されていた。アンケートでは、「また来年もお願いします」と言う意見が数多くあった。今回は、ホール内の安全を優先し、最大70名迄とした。	2 *
19		③英語おはなし会	英語おはなし会参加人数	人	51 (112)	奇数月の第3水曜日に先生2名による英語の絵本の読み聞かせ、手遊び等を開催した。教育熱心な保護者からの質問への対応や、毎回5つ位の英語のお話を用意して頂いたが、参加者の減少が見受けられた。次年度は、広報を始め、告知の範囲を広げ取り組む事とする。	1
20		④①西新宿子ども園、②西新宿児童館、③西新宿児童館まつりにおいて出張紙芝居&おはなし会を行います。	出張紙芝居&おはなし会参加人数	人	①232 (208) ②67 (81) ③87 (39) 計386 (328)	①春と秋に西新宿子ども園 ②毎月1回第2木曜日に西新宿児童館 ③10月に1回西新宿児童館祭りに、職員が出張し、絵本等の読み聞かせや手遊び・体操・クイズ大会を実施し、地域の皆さんとの交流を図った。各施設とは、互いのイベント時にポスターを掲載し合うなども行い、このような地道な行動により、認知度が上がり、新たな利用者としての親子が増えてきている。	3
21	19	⑤中央公園まつりに参加し、紙芝居の読み聞かせを行います。	中央公園イベント参加人数	人	-	昨年は、62名と数多くの利用者に参加して頂いたことから、昨年以上の準備を行ったが、スタート直前の雷雨により、イベントが中止となってしまった。	- *
22		⑥角筈地域センター「わいわい広場」へ参加し、わいわい紙芝居を行います。	角筈センタービル協同イベント参加人数	人	98 (83)	地域センターまつりがビル全施設参加のもと開催された。紙芝居を中心としたおはなし会の開催と一般・児童を分けてリサイクル本コーナーを設置し、サービスの提供も行った。おはなし会は、午前・午後ともテーマを決め、どの回に参加しても楽しめるように、読み聞かせを行った。テーマは1回目：むかしばなし 2回目：おもしろいはなし 3回目：こわいはなし 4回目：クリスマスとした。どの回もお祭りらしい楽しいおはなし会となった。	3
23		⑦理科の実験教室を開催します。	理科の実験教室参加人数	人	7 (28)	夏休みの自由研究のテーマとして、自分で調べること、実験することへの興味を引き出すことを目的とし、今回は、紙おむつの中から高吸水性プラスチックを取り出し、水を吸う仕組みを知り、芳香剤を作った。芳香剤の香り成分について講師より解説があり、参加した小学生達は、楽しそうに実験を行った。台風の影響で、キャンセルされた親子が何組もあったが、毎年人気の講座である。	1
24		⑧読み聞かせ&絵本講座を開催します。	読み聞かせ&絵本講座参加人数	人	春26 秋11 計37 (33)	講師をお招きし、0歳から5歳迄の段階的絵本の選び方、読み聞かせ、手遊び、わらべ歌等の講座を開催。単に本の読み聞かせだけでなく、ハンカチを使った手遊びや、手作りのてるてる坊主を多数持参して頂いた。てるてる坊主を見た事がない児童もいて、大いに盛り上がった。保護者は、子育てに関して非常に熱心な方が多く、講師の話真剣に聞き、メモを取っていた。	2

## 角筈図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
25		⑨スペシャルおはなし会を開催します。	季節ものおはなし会 ①つのはずおはなし会 ②ハロウィンおはなし会 ③クリスマスおはなし会 参加人数	人	①41 (17) ②26 (一) ③32 (33) 計99	通常のおはなし会プラスじゃんけん大会等スペシャル感を強めて開催した。館内告知だけでなく広報や近隣児童施設へのポスター掲載効果もあり、参加数が大幅にアップされ大好評だった。ハロウィンの衣装で仮装気分を味わったり、サンタクロースに扮した職員が登場したりし、毎回大変盛り上がったおはなし会となった。	3
26	19	⑩児童・生徒向けキャリア教育「働くということ」を開催します。	児童用展示点数	点	41 (10)	児童・生徒へ向けてのキャリア教育の一環として、職業案内などについての展示を行った。今年は、「なりたい自分になるために」と言うテーマによるミニ展示とした。内容は、仕事とはどんな事か、どんな業種があるのか、就きたい職業に就くにはどうしたら良いかなど、児童書・一般書に関わらず、紹介を行った。	2
27		⑪角筈スタンプラリーを開催します。	角筈スタンプラリー参加人数	人	212 (135)	前年度からの児童イベントで、昨年は、対象資料を設定して行ったが、今年は、図書館来館、貸出増加、幅広い読書体験を目的として開催した。図書ジャンルに関わらず、貸出1冊につきスタンプ1個を押印、集めたスタンプによりプレゼントを渡した。また開催して欲しいとの意見があった。	2
28	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習個別相談会 ③「百科事典の使い方」講座 ④ICCギャラリーツアー「メディアアートに触れよう！」	調べる学習コンクールへの参加	①点 ②人 ③人 ④人	①133 (416) ②8 (4) ③2 (2) ④26 (15)	今年度は2校減少し、全体応募数も減ったが、内容の充実は見られた。作品作成のお手伝いとして「調べる学習ガイド」や「個別相談会」「百科事典の使い方講座」等の企画を行い、担当校に対して、学校訪問等を行った。こうした取組みの結果、全国大会では、高校の部において自館から提出した作品が『文部科学大臣賞』の栄誉に輝いた。この賞は、新宿区から初めての受賞となり、多方面から労いの言葉を頂き、担当職員達も取り組んだ成果として喜びを分かち合う事が出来た。	4
29		⑫近隣小中学校等からの依頼に応じ、図書館見学、団体貸出や出張おはなし会を行います。	学校関係との連携事業参加人数	人	55 (54)	小学校1校、中学校3校、高校1校、インターナショナルスクール1校の図書館見学やボランティア体験などの受入れ事業を実施した。また、自館でファッションビジネス講座の開催にあたり、大学の図書館職員や専任講師とも情報交換を行った。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
30	23	①図書館ホームページ内の「ビジネス情報」のページを充実します。	ホームページの活用	-	-	図書館ホームページ内の「ビジネス情報」において7月に、約450種類の業界紙・専門誌一覧を最新バージョンに切り替えたが、新宿区のシステム変更により、ホームページも一新される事となり、情報の提供は、ストップしている。業界紙情報だけでなく、自館のビジネス支援情報のデータを既に作成済みのため、30年度に公開する。	2
31	24	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるよう利用方法の案内を充実します。	情報ソースの活用	-	-	館内整理日を利用し、レファレンス業務に活用すべく研修を、パソコン操作の習熟度が高い職員中心に実施し、活用出来る知識を高めた。	2

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
32	28	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	利用者からの声への対応	-	-	利用者のご意見・ご要望に対しては、常に耳を傾け、些細な事でも対応を行った。状況によっては、各部署と連動し、問題解決を進めた。利用者からの意見は、職員全員で共有し、認識を持って運営に当たった。今後も利用者からの意見に対しては、大小関係なく聞き入れていく。	3
33	29	①書籍消毒機・アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	ハッピークリーン導入による資料の殺菌と清潔保全と天然アロマによる図書館のブランディング	回	5,816 (5,203)	書籍消毒器を設置し、快適な利用を進めた。それにより今期も資料の保全に一役かい、使用者も着実に増加している。カウンター前の入口付近にある事で、誰もが目に付く場所に設置している事も利用が増えている要因の一つと思われる。エアアロマも5階入口付近に設置し、引き続き好評を得ている。この設置により、臭い対策に大いに役立っている。	2
34	30	①防災マニュアルを点検し、併設施設と合同防災訓練を行います。	参加件数	件	3 (2)	防火管理者配置とスタッフ消防組織表を作成し、定期的に防災訓練を実施した。	2

# 大久保図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>I 区民に伝える図書館</b>							
1	1	①多文化図書コーナーの充実を図るとともに、書架表示は4か国語(日・英・韓・中)で各種案内を掲示します。	多文化図書コーナーの充実	点	283 (257)	韓国(朝鮮)語、中国語、英語のほかポルトガル語、モンゴル語の資料を購入。また、ネパール語、タミル語、シンハラ語、クメール語等、様々な言語の絵本の寄贈を受け入れ、扱っている言語は22言語にまで広がった。	3
2		②区内大型書店での店頭ブックフェアと連動した企画展を実施します。	区内大型書店の店頭ブックフェアと連動した企画展	回	2 (2)	「おしょうがつをむかえよう」「ことしはいぬどし」とのタイトルで実施した。書店のブックフェアの情報を活用し、貸出冊数の増加につなげることができた。	2
3	2	①新宿区や、近隣施設、図書館の作成した地域情報の冊子の設置及び、外国語版の区政情報を積極的に収集し、提供します。	外国語版の区政情報の収集	-	-	韓国(朝鮮)語、中国語、英語のほかにネパール語、ミャンマー語、タイ語等の区政情報を収集し、生活に関わる身近な情報を様々な言語で発信した。	2
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
4	7	①レファレンス事例集やパスファインダー、インターネットを利用した情報の検索手法等を学ぶ情報検索講習会を行います。	スマホ講習会参加人数	人	20 (6)	スマホの操作の講習会を実施し、操作の仕方から発展をさせて、検索方法、写真の撮り方までを行った。レクチャーを中国の留学生のNPO団体が行い、講座を通して中国の留学生との国際交流の場となった。	4 *
5	8	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	障害者への利用援助	-	-	必要に応じて、筆談ボードを使って利用者とのコミュニケーションを図り、スムーズな意志の疎通を心がけた。またリーディングトラッカー、リーディングルーペの案内に努めた。	2
6		②親子で参加できる外国語おはなし会を行います。	外国語おはなし会参加人数	人	58 (83)	近隣の日本語学校との協力で、年2回、多言語のおはなし会を実施し、英語、中国語、フランス語、スペイン語、イタリア語、アラビア語で行った。絵本の読み聞かせ以外に、各国の手遊び、歌などを披露。留学生の方には、自国のお話をしていただくなど、親子で外国の文化に親しむ場を提供した。	2
7		③複数言語による「大久保スペシャルおはなし会」を行います。	複数言語によるおはなし会参加人数	人	92 (67)	アラビア語の読み聞かせを中心とした「アラブのヤシの木」、NPO高麗博物館との協力で「コリア・スクエア・ガーデン」、ほかにアムハラ語(エチオピア)、ネパール語によるおはなし会を実施した。外国のお子さんには母語によるアイデンティティの確立を進めるとともに、親子で楽しめる国際理解・国際友好の場を提供した。	4 *
8		④大久保地域で生活する在日外国人とともに「アジア地域資料・地域コンテンツコーナー」を設置します。	地域コンテンツコーナーの設置回数	回	2 (2)	大久保地域で生活をする在住外国人の方と共に「地域コンテンツコーナー」として大久保の街並みを外国人の視点でとらえた写真展を開催。ほかにエチオピアの日常生活を表現した絵画展も実施し、多くの方々から好評をいただいた。	2
9		⑤中国語・朝鮮語で対応が可能なスタッフを配置し、母国語によるレファレンス対応を行います。	3言語でのレファレンス	-	-	中国語、韓国(朝鮮)語、英語での対応が可能なスタッフを配置し、母語でのレファレンスを随時受け付けた。	3
10		⑥「ポローニヤ子ども絵本館」等との連携で入手困難なタイ・フィリピン・マレーシア等の国々の絵本をはじめ、多文化に関する展示を行います。また、関連団体との連携でフィリピン・タイ・ミャンマー等少数派の言語での本の読み聞かせ等、多文化の事業を行います。	展示点数	点	135(185)	いたばしポローニヤ子ども絵本館、国際交流基金ライブラリーとの連携で、珍しい世界各国の絵本や、漱石山房記念館の開館にあわせて、いろいろな言語に翻訳をされた夏目漱石の作品を展示した。	3 *
11		⑦多文化サービスをすすめる団体である「むすびめの会」等多文化他機関との連携及び「多文化防災フェスタしんじゅく」等へ参加します。	多文化機関との連携	-	-	「むすびめの会」をはじめとする多文化共生を推進する機関・団体との連携を随時図り、多角的に多文化共生の事業を推進した。	2



## 大久保図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
12	8	⑧日本語多読等による在日外国人の方の日本語学習の支援事業を行います。	日本語多読の参加人数	人	41 (23)	在住外国人の方の日本語支援として、日本語多読のワークショップを開催するとともに、外国の方の図書館利用の促進を図った。	3
13		⑨日本語学校、日本語教室等、日本語学習の機関・団体と連携し、図書館見学・利用案内、やさしい日本語での出張おはなし会や外国語の絵本の読み聞かせ等を行います。	日本語学校との連携	-	-	図書館見学の積極的な受入、外国語のおはなし会の協力、ビブリオバトルのバトル参加の推進、モンゴル語・ポルトガル語などの書誌データの翻訳作業等で連携した。	2
15	9	①地域センター主催「五月まつり」に参加し、「笑顔くれた大久保つつじ」を紹介します。	「五月まつり」おはなし会の参加人数	人	20 (25)	地域センター主催の「五月まつり」でおはなし会を実施。『笑顔くれた大久保つつじ』を通して、大久保つつじを紹介する。	2
16		②「鉄砲組百人隊」等地域の歴史の関連資料の展示やパネル展示を行います。	「鉄砲組百人隊」写真展の見学人数	人	66 (84)	9月開催の「鉄砲組百人隊」出陣の儀にあわせて、写真展を実施した。	2
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
17	12	①大久保地域に関連した「新宿学」の講座や企画展示を行います。	「新宿学講座」参加人数	人	28 (25)	「大久保歴史探訪」と題して、江戸時代から現代までの大久保の歴史講座を開催した。地元の参加者が多く、たいへんに喜ばれた。	2
18		②地域住民の読書支援として「ビブリオバトル(知的書評合戦)」を開催します。	ビブリオバトル参加人数 外国人 日本人	人	6 (4) 6 (6)	「第4回ビブリオバトル国際ショナルオオクボ」を開催した。外国の方6名のバトルに参加し(韓国、ネパール、ベトナム、スリランカ、UAE、アメリカ)、観覧を含めると47名の参加で過去最高の盛り上がりみせ、「本を通しての国際交流」を大きく推進した。	3
19		③暮らしに役立つ生活情報講座を開催します。	生活情報講座参加人数	人	19 (19)	中国の留学生のNPO団体と協力をして、「作ろう食べよう水餃子！」を開催した。中国の留学生と食文化を通しての友好交流の場となった。	2
20		④「知る・楽しむ」をテーマとした新たな事業を実施します。	「朗読コンサート」参加人数	人	113 (107)	シンガーソングライター、アーティスト、朗読のプロによるコンサートと朗読のコラボを開催した。毎年開催して大好評をいただいた。	2
21	14	①図書館の事業内容の広報、図書館の活動報告などを載せた日本語版および外国語版の「図書館報」を発行します。	「大久保図書館便り」の日本語版と韓国語ダイジェスト版の発行回数	回	4 (4)	館内をはじめ、近隣の小・中学校、幼稚園、保育園、そして区の施設や機関に配布した。図書館の事業紹介と情報発信に努めた。	2
22		②来館した利用者の方への事業報告として「イベントニュース」を掲示します。	イベントニュースの掲示回数	回	7 (7)	「人形劇」「ぬいぐるみおとまり会」「第4回ビブリオバトル国際ショナルオオクボ」など、大盛況だったイベントを図書館入口で紹介し、情報発信と同時に、新規利用者とりピーターの開拓に努めた。	2
<b>Ⅳ 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績	
23	19	①児童向けに工作会・理科読等を開催します。	工作会参加人数	人	25 (86)	前年度は、外国語のおはなし会と兼ねたが、今年度は、『かみねんどでなつをつくらう』というテーマで単独で実施する。親子で参加をして楽しめる方もいらして、盛況だった。	1
24		②「ぬいぐるみおとまり会」などの親子向け事業を実施します。	「ぬいぐるみおとまり会」参加人数	人	31 (31)	お気に入りのぬいぐるみを持っておはなし会に参加。後日、ぬいぐるみの写真を見て皆たいへんに喜ばれていた。	2
25		③人形劇を開催します。	人形劇の開催参加人数	人	86 (60)	『ぼえむぼえむ』『まぐんとかえるくん』の2作品を上演。終始笑い声が絶えず、楽しい人形劇で大盛況だった。	2
26	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。	「調べる学習コンクール」の参加点数	点	251 (284)	担当校が1校減ったが、昨年と同等の作品が集まった。うち館長賞が3作品、優秀賞が1作品選ばれ、全国コンクールに出品しすべて佳作に選出された。ほか21作品が奨励賞となった。	2
27		①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。					

## 大久保図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
28	20	②調べる学習個別相談会	関連するイベントの開催回数	回	4 (4)	「調べる学習コンクール」に関連するイベントを開催、また随時個別相談を行った。	2
29		②出張おはなし会や、図書館見学及び職場体験の受け入れ等、近隣の学校や、教育施設を支援します。	近隣の学校及び教育施設の支援回数	回	62 (69)	幼稚園の出張おはなし会、館内読み聞かせ、小学校の「朝読」、ブックトーク、中学校の職場体験、高校の奉仕活動、大学・大学院生の図書館見学、多文化サービスの取材、日本語学校の図書館見学等、積極的に受け入れ、図書館利用を促進と情報発信に努めた。	2
30		③小中学生と協力してブックリスト・POPの作成や、展示コーナーを充実します。	小中学生と協力した展示コーナーの設置回数	回	2 (2)	中学校の職場体験の一環として実施し、展示をするための本の選定、POPの作成などアイデアを出しあい、斬新な展示を行った。	2
31	21	①保健センターで3歳児検診および3~4か月児検診の幼児、保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行います。	「絵本で触れ合う子育て支援事業」での区内保健センターでの読み聞かせ回数	回	24 (24)	東新宿保健センターでの0歳児と3歳児の健診の際に、乳幼児への絵本の読み聞かせを実施した。子どもと絵本との触れ合いの場の提供に積極的に協力をした。	2
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
32	24	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるよう利用方法の案内を充実します。	商用データベースおよびウェブ上で公開されているデータベースを活用しての魅力あるレファレンスの実施	-	-	新聞のデータベース等を使用してのレファレンスを随時受け、的確な情報提供に努めた。	2
33		②SNSで情報を発信します。	地域の情報拠点としての情報の発信向上のため、SNSによる情報発信回数	回	1 (1)	本社の構成企業のウェブサイト「やさしい日本語の本を読んでもみませんか？」のポスターを掲示したところ、Facebookには93の閲覧と7の反応があり、SNSによる情報発信に努めた。	2
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
34	30	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	アンケート回答件数	件	417 (373)	毎年12月に実施しているアンケートでは、ルビ付きで、簡易な日本語で表現をした外国の方用のアンケートを使用し、外国の方々のご意見を吸い上げた。また全体を通して、多文化サービスの理解が進んでいるという結果が得られた。各イベントの際にもアンケートを実施しているが、好評をいただいている。	2
35		①空気清浄機、消臭剤、エアーフレッシュナー及びアロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	快適な読書環境の提供	-	-	アロマディフューザーを設置したことから、快適な読書環境が提供されている。香りが良いとの好評を、多数いただいている。	2
36		②防災マニュアルを見直し、併設施設と合同防災訓練を行います。	避難訓練回数	回	1 (1)	特別出張所との合同の避難訓練に参加。また「帰宅困難者一時滞在施設」として開設するまでの流れを、マニュアルの読み合わせを行い、綿密な打ち合わせのもと、非常時に対する備えを堅くした。	2

下落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価	
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績		
<b>I 区民に伝える図書館</b>								
1	1	①介護をテーマにした常設展示を行います。	介護をテーマにした書籍や著作物を収集し展示。 「常設展示点数」	点	1,048 (866)	様々な介護をテーマにした書籍や介護経験のある著者の作品を収集し展示を行った。また、選書計画に則り蔵書数を増やすとともに関連する介護関連パンフレットの設置も行い情報提供に努めた。	3 *	
2		②「手塚治虫」「赤塚不二夫」に関する展示を行います。	「高田馬場」「中井」に近い図書館として、館を象徴する企画として展示。 「展示点数」	点	148 (-)	『手塚治虫』『赤塚不二夫』と繋がりが深い地域の一つである「高田馬場」「中井」に近い図書館として、コーナーを作り展示を行った。また、12月に案内ロボットを活用して、地域のかかわりを簡単に説明した「地域資料 赤塚・手塚展示」の紹介を実施した。その際の紹介コンテンツ利用は、271回。また、1～3月の貸出回転率は約303%であった。	3 *	
3		③様々な観点からオリンピック・パラリンピックに関する展示を行います。	2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックの気運を高めるためのコーナー作り。 「展示点数」	点	70 (-)	オリンピック・パラリンピックの精神、学べるスポーツの本、アスリートの伝記、障害をテーマにしている本、我が国の伝統文化など、様々な観点から展示を行った。当初9・2月の2回実施予定で有ったが、平昌オリンピック・パラリンピック開催から東京開催へ繋げる為、9月より常設展示とし機運を高めた。	3 *	
4	2	①江戸時代初期から染色工業の中心地の一つとして賑わった下落合の地域資料を収集し、専用コーナーを設けます。	「展示日数・展示点数」	日点	43 (-)	50	「Finding My Favorite Color ～新宿の伝統工芸・染物～」と題しプロジェクター投影と案内ロボットを活用した展示を行った。また、染色産業の地域行事と連携し工作イベントを開催した。	2
5	3	①電子書籍・電子資料体験イベントを行います。	案内ロボットを活用し、子どもや高齢者など身近に体験していたがける企画を行う。 「利用回数」	回	281 (-)		漱石山房記念館開館記念！特別展示「夏目漱石作品への招待状」の実施期間中に案内ロボットを活用し、朗読をする企画を実施。夏目漱石の主要8作品の冒頭を設定。期間中の利用回数が281回あり、多くの方に体験して頂き楽しく魅力をアピールできた。	2
<b>II 区民を支える図書館</b>			指標	単位	数量	実績		
6	8	①図書館内ツアーを行うとともに、館内案内図や書架情報など分かりやすいサインやチラシを作成し掲示します。	図書館ツアーを開催し、下落合図書館の特徴や利用方法を理解してもらう。 「実施回数・人数」	回人	29 (20) 66 (148)		館内パンフレットを活用し図書館員による図書館ツアーを4・5月に開催し、図書館の特徴や利用方法の周知活動を行った。2ヶ月に及び行い、実施回数は前年を上回り開催。1回の参加人数は徐々に減少したが、開館当初より一定期間に渡り実施したことで利用体験が周知された影響と判断する。また、頂いた利用者の声も参考にし、館内サインや掲示物も分かり易さを心がけ工夫し掲出した。	2
7		②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	必要に応じ、館利用に障害の有るものへの利用援助が出来る様に備える。	—	—		ユニバーサルデザインで設計されている施設を理解しながら、車椅子の設備や職員への使用方法、筆談ボード使用のシミュレーション、簡単な手話の職員研修を行った。多目的室開催の映画会イベント時では、磁器ルーペシステムの紹介を行い希望された方への貸出を行った。	2
8		③ユニバーサルデザインのコミュニケーションボードを作成、筆談ボードを設置し、併用することにより、障害者とのコミュニケーションを図ります。	外国人・障害者、高齢者に対する配慮として、コミュニケーションボード・筆談ボードを設置する。	—	—		カウンター2箇所筆談ボードとユニバーサルデザインのコミュニケーションボードを用意し、外国人・障害者へのコミュニケーションを可能とする環境を作った。また、拡大鏡めがねの設置継続と1月より拡大読書器の設置を行い、利用案内プレートも作り活用し易い環境も整えた。	2
9	9	①近隣の介護施設、保育施設などへの出張お話をを行います。	要望に応じ、近隣の介護施設、保育施設などへの出張お話会の開催。	回	0		ボランティア協力のもと落合保健センターにて健診時の読み聞かせを実施(24回・869名)。	1

## 下落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価	
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績		
<b>Ⅲ 区民が集う図書館</b>								
10	12	①時事・テーマ展示を行うとともにパスファインダーを作成します。	適切なパスファインダーの作成と設置をする。	回	8 (4)	児童書を中心に予想される年代別でパスファインダーを作成し、手に取りやすい場所に設置し、イベント時にも配布を行った。また、イベント開催に因んだテーマ関連のパスファインダーも3回作成しイベント盛上げに役立った。	2	
11		②バリアフリー映画会を行います。	「西の魔女が死んだ」「グーグーだって猫である」 「実施回数・人数」	回 人	2 62 (-)	障害のあるなしに関わらず公共施設である図書館にて、気軽に芸術・文化と触れあいたい機会を提供した。また、当初1回の計画で有ったが2回行うことが出来、更に施設に備付けている磁器ループシステムの紹介も行った。	3	
12		③下落合寄席を開催します。	開館1周年記念として落語会を開催する。 「参加人数」	人	33 (34)	人気のある伝統芸能の落語会を幅広い年齢の方に身近に見ていただくことで、図書館が身近な公共の場という認識と、利用の促進を促す切掛けを作った。当日キャンセルによる参加者人数が33名となったが、早い段階で募集定員(45名)が埋った。子どもから大人まで笑っていただき改めて、伝統芸能への興味や面白みなど関心を引き出す企画となったと考える。	2	
13		④地域包括支援センター(高齢者総合相談センター等)職員などの協力を得て介護で知っておくと役立つ情報講座を行います。	介護支援セミナーの開催 「実施回数・人数」	件 人	2 (-)	42	介護支援セミナー「老いに備えて～老後と年金・医療・介護とおかねの話～」と「要介護って予防できるの？今からでもできること」のファイナンシャルプランナーの資格を持つ講師をお呼びし貯蓄の面からと、国際医療センターリハビリテーション科担当の先生による身体的な健康管理の面からのセミナーを開催。利用者からの質問にも答える形式で身近に役立てられ易いように進めた。	2
14		⑤新春コンサートを開催します。	オープンライブラリースペースを活用し新春らしい楽器による本格的コンサートを開催。 「参加人数」	人	65 (165)	新春イベントとしてプロのヴァイオリニスト2名によるコンサートを開催。図書館の特色のひとつのオープンライブラリースペースを開放して開催準備をしたが、当日生憎の天候となり室内開催(多目的室)となった。立ち見が出るほど子供から高齢者、外国籍の方まで参加され大変楽しんでいただいた。(前年度2回講演、本年度1回講演)	2	
15		⑥子育てに役立つ講座を行います。	子育て支援セミナーの開催。 「実施回数・人数」	件 人	2 (-)	56	子育て支援セミナー、「こどもの救急医療」と「子育て世代のライフプラン」の日ごろの健康管理の面からと貯蓄の面からのセミナーを開催。具体例を挙げながら利用者からの質問にも答え進め、日常生活で役立てられ易い内容とした。	3
16	14	①染色産業との連携イベントを行います。	染色産業の地域行事と連携しイベントを開催。 「展示日数・展示点数/イベント参加人数」	日 点 人	43 50 13 (-)	展示は、「Finding My Favorite Color ～新宿の伝統工芸・染物～」と題し染色協議会・染の小道実行委員会の協力を得て、関係資料も集めて実施。更に、新宿区歴史博物館より神田川にて染色業を営む風景写真を頂き、当時の様子をお伝えする。(貸出冊数53点、回転率106%)また、この期間に染めた和紙による「工作会 折ってつこう 染めた和紙で作るキャンディー&スイーツBOX」を開催し、子どもたちにも地域産業を身近に感じてもらった。	2	
<b>Ⅳ 子どもの成長を応援する図書館</b>			指標	単位	数量	実績		
17	16	①読書推進週間に合わせオープンスペースを活用した青空かみしばいを行います。	オープンライブラリースペースを活用した街頭紙芝居を開催。 「参加人数」	人	61 (-)	読書推進週間に合わせオープンスペースを活用し、プロの紙芝居による読書の楽しさを知ってもらった。親子のほか、音を懐かしむ大人の方まで幅広い年齢層に参加して頂け、図書館は皆で楽しむ公共の場である認識を伝えることが出来た。	3	

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
18	19	①川と自然に囲まれた地域の特徴を生かし、館内に水槽を設置し、「生物多様性の展示」を通じて生物多様性の理解や、調べ学習を支援します。	生物多様性の本箱のコーナーを作成。 「展示冊数」	冊	70 (68)	UNDB-J推薦図書生物多様性の本箱を活用しながら、神田川や妙正寺川と自然に囲まれた地域の特徴と館内の水槽を生かし、子どもも大人も生物多様性の理解を深めるきっかけを作り、調べ学習支援をした。	2
19		②クイズ形式で楽しみながら学べる「百科事典の使い方」講座を開催します。	「めざせ！百科事典マスター！」 「参加人数」	人	13 (-)	百科事典を自在に使えるように、引きかたや調べ方をクイズ形式で楽しみながら学べる子ども向け講座を開催した。調べることを繰り返したことで早く見つけることが出来、自信を付けさせる機会になった。	2
20		③工作会を行います。	・「*手作りスノードーム*」 ・「楽しく作ろう！ペーパークラフト」 ・「折ってつくろう 染めた和紙で作るキャンディー&スイーツBOX」 「回数・参加人数」	回人	3 45 (-)	季節や地域に因んだものを題材に、創造と指先を使った手作り作業をして、物作り体験をもらった。親子で参加することで、親子の触れ合う時間を楽しむ場となった。また、好評であった「*手作りスノードーム*」では、作り方ガイドを作成し参加できなかった子にも配布出来るようにし、「折ってつくろう 染めた和紙で作るキャンディー&スイーツBOX」では、近隣地域で行われた染の小道イベントの散策マップをお渡しし好奇心の幅を広げる切っ掛け作りを行った。	2
21		④インターネットを使って世界の大学の講義を英語で受ける「中高生のためのプレカレッジ」を行います。	ワークショップ「絶滅危惧種ってなんだ!?」の開催。 「参加人数」	人	25 (-)	中高生の図書館利用を促すイベントとしてIT企業の協力のもとフランスの通信社の最新海外コンテンツを活用しアクティブラーニングにて参加型のワークショップを行った。小学生から高齢者の方、外国籍の方まで幅広い層が参加され活発な意見が飛びあう知的好奇心をおおる内容となった。	3
22		⑤人形劇を開催します。	人形劇公演 「参加人数」	人	55 (-)	「ハリネズミと金貨」「ちいさなちいさな人形劇」の演目を多目的室にて公演。限られたスペースのため演目選定に気配り2作品とし、床にマットを引き多くの親子で楽しめる様工夫をした。	2
23		⑥通常のお話を拡大した『クリスマス会』を行います。	クリスマススペシャルおはなし会 「参加人数」	人	91 (-)	エプロンシアターなどを加え、通常のお話を拡大させて実施した。お奨め絵本を紹介したお手製のクリスマスカードなどスタッフが扮するサンタよりプレゼントも行き、図書館ならではのクリスマス時期を楽しむ企画にした。	2
24		⑦こども司書認定講座を行います。	子ども司書認定講座「レファレンス謎解きワークショップ」 「参加人数」	人	11 (-)	タブレットにてWebOPACを使い、ゲーム形式で各チームごとに与えられたレファレンス指令を解いていくワークショップを開催した。収集や分類方法を始め、レファレンスインタビューをしてもらうことで、普段とは違った視点で図書館を楽しんでもらい、図書館員の仕事に興味を持ってもらう企画となった。	2
25	20	①「調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習ガイダンス ③調べる学習個別相談会	学習ガイダンス「テーマ決め・調べ方・纏め方」の3つの講座 個別相談week開催 ①: 作品数 ②回数・参加人数 ③相談数	件人	①: 325 ②: 3 27 ③: 7 (-)	学校の協力のもと図書館利用を促進する重点事業として、支援企画などを行い作品審査会及び新宿区表彰式を開催した。調べる学習支援として図書館及び学校にて説明会・相談会を開催。図書館にて、調べる学習ガイダンス「①テーマの決め方」「②調べ方」「③纏め方」について3回に別けての開催、「調べる学習個別相談会」「百科事典の使い方」講座の企画を行い、何れも好評を得て、事業の成功へと繋げる活動を行った。	2

## 下落合図書館

29年度当初の分野別計画事項			実績				自己評価
項番	基本方針のNo.	29年度サービス計画の「事業内容」	指標	単位	数量	実績	
<b>V ICTの利活用の促進</b>			指標	単位	数量	実績	
26	24	①「案内ロボット」を活用し、利用案内や、OPAC・自動貸出機の設置場所、展示説明などを行います。	案内ロボットによる図書館情報案内「夏目漱石紹介、赤塚・手塚紹介、染め産業 3つの情報利用回数」	件	1,810	案内ロボットを活用し、利用者自ら基本情報や新規情報を得られるように随時工夫をした。利用案内の基本情報以外にも、地域情報や展示紹介、夏目漱石の書籍紹介や赤塚・手塚虫治の地域ゆかりの情報など随時更新し、お話し会での活用も行った。	2
27		②テーマ別に製作した展示パネルやパスファインダーのデータをテキスト化し、タブレット端末で閲覧できるようにします。	特別展示と連動しプロジェクターによる投影を行った。	件	5 (1)	プロジェクター投影によるメッセージ性のある展示を行う。「下落合図書館へようこそ」「絶滅危惧種と生物多様性」「境界線から考える平和」「食欲をそそるメシテロ文学」「新宿の伝統工芸・染物」の5回を資料展示と連動させ実施。また、案内ロボットを使い展示情報や地域情報を自由に引き出せるようにした。	2
28		③多目的室に電子黒板機能内蔵のプロジェクターを設置し、討議や会議に活用します。	プロジェクター活用をしたイベントの開催	—	—	利用者参加型のイベントにするため、電子黒板機能などがあるプロジェクターを活用し、ディスカッション進行に役立てる様にした。進行上電子黒板機能は使用しなかったが、プロジェクター以外にも模造紙などを使い参加型のイベント開催を行い反響を得ている。	2
<b>VI 図書館環境の整備</b>			指標	単位	数量	実績	
29	28	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	利用者意見などの調査を行い、状況確認や今後の参考とする。「実施件数」	件	29 (-)	イベント毎にアンケートを取るよう心がけイベント状況のリキャップ及び今後の事業参考にし次回に生かせる体制を作った。また、年末には利用者満足度調査を行い(回収数219枚)、方向性やニーズ分析に役立っている。	2
30	30	①天然アロマと快適な音により知的で落ち着いた着きのある快適な読書環境を提供します。	図書館入口にアロマディフューザーを設置し、読書環境を整える。	—	—	図書館入口にリラックス効果の高い天然アロマの香りを噴霧するアロマディフューザーを設置、階段横の高い書架には緑のプランターフェイクを置き視覚嗅覚の面からも読書環境を整える試みをした。また、アロマ講座イベントも開催し知識の面からも楽しんでいただいた。	2
31		②利用者が自身で資料を清潔にすることができるよう書籍消毒機を設置します。	書籍消毒機を導入し、清潔性を求める方への配慮や資料を大切にすることを促す環境を整える。「年館利用回数」	回	7,957 (714)	臭いや埃に気を配る年齢の子どもを持つ親のニーズを考え児童室に設置。資料を大切にするというモラル面からも利用されている。	3
32		③デジタルサイネージによる座席管理システムを導入し、公平かつ利便性の高い閲覧スペースを提供します。デジタルサイネージには利用情報や行事案内などの情報も表示します。	デジタルサイネージによる座席管理の実施を行う。	—	—	新宿区で初導入となる座席管理による公平・平等な利用を提供出来る様に、補足案内やアプリ変更など随時行い利便性を上げるように努力をした。また、職員がフロアーにて説明や管理が出来るよう情報共有を行い新宿区初導入の座席管理の浸透を図った。	3
33		④防災マニュアルを点検し、併施設と合同防災訓練を行います。	消防計画、緊急連絡フローの必要に応じた見直しと運営。	—	—	消防計画及び危機管理マニュアルに沿った見直しを固り必要に応じ修正を加えた。また、警備員合同の避難訓練も行い緊急時の対応を確認した。	2

### Ⅲ 31年度のサービス計画にあたっての対応事項

※自己評価欄は平成29年度の評価。この資料は、自己評価が低かったものや、改善したい事業について、取りまとめた資料。

#### 評価点と標語

- 4 目標又は前年実績を著しく上回る成果かつ先駆的、先進的な取組みを行った場合
- 3 目標又は前年実績を上回る成果
- 2 目標又は前年実績とほぼ同じ成果
- 1 目標又は前年実績を下回る結果

#### 中央・こども図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針のNo.	事項	自己評価点	次年度に向けての対応
1	I 区民に伝える図書館	1	図書資料収集	1	28年度下落合図書館開館準備が終了したことによる実績減(-57.172点)です。今後も引き続き適切な資料収集に取り組みます。
2	I 区民に伝える図書館	1	東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連資料の収集	1	基本的に関連資料は収集しており、出版等の動向による実績減です。引き続き収集に取り組みます。
3	II 区民を支える図書館	8	家庭配本サービス事業	1	家庭配本サービス登録者数は前年度とほぼ同数ですが、延べ配本回数・資料点数とも前年度を下回る結果となりました。各館の状況、実績減となった要因を分析し、改善を図っていきます。
4	II 区民を支える図書館	9	ビジネス情報支援相談会の充実	1	現在取り組んでいるビジネス情報支援だけでなく、女性の就労支援等に関連させるなど、対象層の拡大に取り組みます。
5	II 区民を支える図書館	11	庁内レファレンスサービス事業	1	庁内部署への通知による周知だけでなく、全庁的な庁内会議等において、各部の事業検討に役立つ新聞報道・裁判例の情報等を提供可能であること等、わかりやすく周知していきます。
6	III 区民が集う図書館	12	図書館講座の開催	1	人気講師(ボランティア)の開催数減(3回→1回)による実績減です。今後も参加が増えるよう、様々な講座の実施に努めます。
7	III 区民が集う図書館	12	全館共通テーマ(夏目漱石に関する事業及び東京2020オリンピック・パラリンピック)の推進	—	夏目漱石に関する事業及び東京2020オリンピック・パラリンピックについて、引き続き全館共通テーマとして位置付け、各館しに対し、中央図書館が主体的な役割を果たしていきます。
8	III 区民が集う図書館	15	図書館サポーター事業	1	登録者が増えている一方で活動回数が減少しています。主に資料整理及び修理に関する活動が減少しているため、この分野を中心に改善を図っていきます。
9	IV 子どもの成長を応援する図書館	20	図書館を使った調べる学習コンクールを活用したレファレンスの向上	1	「調べる学習支援」は子どもたちが自ら調べ、意見に耳を傾け、学び、その中から自分の考えをまとめて発表するという、子どもたちの自主的な成長に欠かせない学習過程です。先生や保護者の関心も高まる中、今後は、こども図書館・地域図書館・学校が連携をより密にして、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」につながる効果的な支援を検討していきます。
10	IV 子どもの成長を応援する図書館	21	絵本でふれあう子育て支援事業	2	待合室で読み聞かせを行っている保健センターと健診後に別室で行っている保健センターとがあり、別室のほうが低い傾向にあります。平成30年度中にすべての保健センターで待合室で読み聞かせを行い、参加向上を図っていきます。

## 四谷図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	Ⅱ区民を支える図書館	7	地域資料レファレンス講座の開催	1	講師選定に日数を要し、継続開催している情報検索講習会との日程調整ができず、開催を断念しました。企画の趣旨と内容について再考していきます。
2	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	親子で楽しむクラシックの開催	1	イベントを依頼する予定の講師日程が最終的に調整できず、開催を断念しました。講師への依頼は、日程に充分余裕をもって準備していきます。
3	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	「手袋人形を作ろう」の開催	1	予定していた講師の支払いについて、最終的に折り合わず開催を断念しました。図書館事業費全体と他のイベントとのバランスを充分に考慮しながら準備を進めていきます。

## 鶴巻図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	Ⅲ区民が集う図書館	12	暮らしの講座「エンディングノートは始まりノート～成年後見と相続も見据えて～」の開催	1	昨年度人気のイベントとはいえ、2年連続で同じタイトルと内容であったため、参加者の減につながった可能性が考えられます。次年度は講師の行政書士と相談し、熟年世代のニーズに寄り添った新たな内容の講座を検討していきます。
2	Ⅲ区民が集う図書館	12	絵本作家 トークショーの開催	1	参加者の減については、当日の台風直撃が主要因と考えられ、イベントそのものに不備や不満はないものと考えています。充実した内容で人気のある絵本作家のため、再度、同イベントの開催に向けて準備を進めていきます。
3	Ⅲ区民が集う図書館	12	ワールドカフェの開催	—	次年度、新規イベントとして「ワールドカフェ」※の開催を検討します。 ※テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。
4	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	絵本ライブの開催	1	イベントのタイトル名や、宣伝・周知の方法に問題があったと考えています。絵本作家自身が登場し、効果音を使用した読みかたりや大道芸風演目が多彩であることなど、イベントの内容をわかりやすく伝えるとともに、周知や宣伝方法を工夫していきます。
5	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	つるまきカルタ大会2018の開催	1	今年度は、システム更新の関係で1月下旬の開催となったことから、時期が過ぎ、盛り上がりには欠けたため、参加者数に影響したと思われます。カルタはお正月の風物でもあり伝統的な行事の一つのため、次年度は年始早々に開催し、地域の子どもたちにお正月の遊びとして伝えていきます。



## 西落合図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	I 区民に伝える図書館	5	隣接区の図書館との連携と情報発信	2	これまでも近隣区の図書館と連携を図り、利用者へイベント等を周知していますが、次年度は、図書館情報だけでなく隣接区の地域情報も発信していきます。
2	II 区民を支える図書館	6	パスファインダーの作成と活用	1	パスファインダーの作成については、スペースの確保や内容の絞り込みが難しく、配布数も伸びないことから、新たに作成することを取りやめます。次年度は、図書館の上手な利用法や、調べ方講座等を開催し、課題解決の支援に取り組みます。
3	II 区民を支える図書館	8	障害者・高齢者サービスの充実	2	講演会開催時、聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備（磁気ループ）を活用し、障害者や高齢者の参加を促していきます。
4	II 区民を支える図書館	10	大学との連携	2	これまでも近隣大学と連携を図っていますが、今後は学生を交えた講座などを検討し、実施していきます。
5	III 区民が集う図書館	12	魅力あるイベントの実施	2	参加希望者多い事業について、館内開催に限らず会場は館外にも広げることや複数回開催を検討し、区民のニーズに応えていきます。
6	III 区民が集う図書館	12	開館40周年記念イベントの実施	—	西落合図書館は、次年度、開館40周年（1979年5月開館）を迎えるため、記念イベントを行います。
7	IV 子どもの成長を応援する図書館	18	児童向けビブリオバトル（知的書評合戦）の啓発活動の開催	1	今年度は、学校方針や時間的な制約もあり実現出来ませんでした。学校へのアプローチを引き続き行い、実現を目指します。
8	IV 子どもの成長を応援する図書館	20	授業に必要な資料準備支援	2	学校図書館司書との情報共有を深め、選書や授業に必要な資料などを取り揃え、学校への支援を充実します。
9	VICTの利活用	24	タブレット端末を使った情報探索講習会の開催	2	今年度、タブレット端末を使った初級講座を開催したところ、高齢者の参加者が多く、継続的でさらに内容の濃い講座を求めていることがわかりました。今後は、時間数を増やすなど、ニーズに合った講座を開催していきます。

## 戸山図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	VICTの利活用	24	音声資料等のテキストDAISY化、製作期間の短縮化、製作コストの削減	3	利用者が求める資料等を迅速に提供するため、テキストDAISYの利用を促進していきます。また、製作期間の短縮やコスト削減を図るため、DAISY製作に係る業務の流れを的確なものとし、DAISY製作ボランティアとの協働も継続的に進めていきます。

## 北新宿図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	I 区民に伝える図書館	2	柏木地区に関する資料、地域の団体とその活動に関する情報の収集及び提供	1	今年度も新宿区、柏木地区に関する資料を積極的に収集・提供しましたが、昨年度よりも収集した点数が減少しました。次年度に向け、資料収集等の方法について検討していきます。
2	II 区民を支える図書館	8	外国人への日本文化及び生活支援情報の提供	2	今年度までは外国人が日本の文化に触れる機会を設けた内容の講座等を開催していましたが、次年度は、日本語学校の協力を得ることができたため、「文化理解講座（留学生から「世界」を学ぶ）」という内容に変更し、日本人と外国人の交流の場を作る内容に変更します。
3	III 区民が集う図書館	13	タイムリーなテーマの講演会の開催	3	多文化共生地域を意識した講演会が好評であるため、次年度も継続して講演会、演奏会、体験型のイベントを行っていきます。
4	III 区民が集う図書館	13	韓国料理教室及び韓国語講座の開催	3	好評である韓国薬膳料理教室は継続して行い、語学講座については、これまでも実施してきた韓国語に加え、ミャンマー語の講座も開催します。
5	IV 子どもの成長を応援する図書館	19	お誕生日カード及び読書手帳の配布	3	オリジナルの読書手帳が好評であるため、子どもへの配付だけでなく大人にも配布していきます。また、読書手帳の記入欄がいっぱいになった際にお渡ししている景品について、大人向けのものもオリジナルで作成します。

## 中町図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針の№	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	III 区民が集う図書館	2	絵本の原画展の開催	2	今年度開催した地域にお住まいの絵本作家による新作の原画展については、単年度企画のため、次年度は他の事業を検討します。
2	III 区民が集う図書館	14	本のまち連続講座の開催	---	「本のまち神楽坂」をキーワードに、製本や編集について学ぶ講座を次年度から展開します。
3	III 区民が集う図書館	15	読み聞かせサポーターの活動支援	---	平成28年度と30年度に実施した読み聞かせ実践講座の修了生に活動の場を提供し、活動が継続するよう支援します。

## 角筈図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針のNo.	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	Ⅱ区民を支える図書館	6	起業・創業・キャリアアップセミナーの開催	4	これまでもビジネス支援に力を入れていますが、次年度は、内容をさらに充実させた以下の講座を開催します。行政書士によるビジネス講座(4回)、ファッション関連者によるファッションビジネス講座(2回)、シナリオセンターによるビジネスにおけるモチベーションアップ術(1回)の合計7回の講座を開催し、支援活動を行っていきます。
2	Ⅱ区民を支える図書館	6	ビジネス情報支援相談会の開催	1	現在、毎月行っている相談会は、利用者の相談内容に応じ中小企業診断士2名をお願いしていますが、利用者から違う中小企業診断士の意見も聞きたいとの要望があるため、中小企業診断士協会に相談し、対応していきます。次年度は、起業・創業・キャリアアップセミナーに力を注いでいくため、ビジネス情報支援相談会についても宣伝し、新しい利用者を開拓します。
3	Ⅲ区民が集う図書館	12	年金講座の開催	1	例年実施している講座で、内容自体はとても良く、参加者の満足度も高い講座ですが、タイトルの「年金知ってライフプラン」が良くなかったようで参加者数思うように伸びませんでした。次年度は、タイトルのつけ方を工夫するとともに、より多くの方が興味を持つ内容として実施していきます。また、開催時期や周知方法についても見直します。
4	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	英語おはなし会の開催	1	奇数月に年6回開催しましたが、参加者が多い日と極端に少ない日(1名の日もあった)があり安定した人数の確保が出来ませんでした。内容については、毎回、先生の工夫により、お話や紙芝居、手遊びなど色々なバリエーションを用意して頂いています。参加して頂ければ非常に楽しいことが理解できるため、通常のおはなし会時にも積極的に参加を呼び掛けていきます。
5	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	19	理科実験教室の開催	1	毎年人気のある夏休みの講座ですが、先生の都合で、例年の7月から今回は8月に変更したことで当日台風により多数の親子の当日キャンセルが発生してしまいました。次年度は、先生と相談し、日程の調整を行い広報だけでなく、近隣の施設へもお声を掛け宣伝を再度強化します。
6	Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	20	「調べる学習コンクール」関連事業	4	今年度、自館選出の作品が、文部科学大臣賞を受賞したことから次年度も連続して受賞出来ることを目標に、担当学校への応援を行っていきます。自館での講座、近隣の施設を利用した見学ツアー、学校を訪れての出張授業の開催等、生徒達へ図書館として全面バックアップし、一人でも多くの生徒の作品応募を呼び掛けます。

## 大久保図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針のNo.	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	I 区民に伝える図書館	1	多文化図書コーナーの充実	3	現在、韓国(朝鮮)語、中国語、英語のほかポルトガル語、モンゴル語など22言語の資料を取り揃えていますが、扱う言語数をさらに拡大していきます。書誌データについては、翻訳ボランティアの協力のもと行っていますが、その翻訳ボランティアを拡大し、協働していきます。
2	II 区民を支える図書館	8	外国語のおはなし会の開催	3	現在、近隣の日本語学校との協力で、中国語、英語のほかフランス語、スペイン語など多言語でのおはなし会を実施していますが、今後、言語のレパトリーを拡大するとともに、国際理解・国際友好の場を拡大します。
3	II 区民を支える図書館	8	地域コンテンツコーナーの充実	2	大久保地域で生活をする在住外国人の方と共に写真展などを開催していますが、今後も多角的に取り組み、多文化の情報発信を多彩に行います。
4	II 区民を支える図書館	8	多文化共生機関との連携	2	多文化共生機関との連携を強め、多文化共生事業のより一層の充実・拡大を図ります。
5	IV 子どもの成長を応援する図書館	19	児童向けの工作会の充実	1	昨年度実施した外国語のおはなし会と兼ねるという形式ではなく、専門家を講師として招き、内容を充実させた講座形式で開催します。子どもが楽しむことができることはもとより、再利用できる素材などを使用し、地球にやさしいエコの視点を取り入れます。
6	VICTの利活用	24	SNSの活用	2	外国の方を対象にした行事では、メールによる申し込み受け付けを検討します。

## 下落合図書館

項番	基本方針 (6つの方針)	基本方針のNo.	事項	自己 評価点	次年度に向けての対応
1	II 区民を支える図書館	9	近隣の介護施設、保育施設との連携	1	今年度は、近隣の施設との連携を図ることができませんでしたが、コンタクトを取りつつ要望に応じ、地域施設を活用した行事開催や近隣の保育施設などへの出張お話し会の開催をしていきます。お話し会開催だけにとらわれず、地域ニーズを把握し、東京都行政書士会新宿支部等と連携し、専門家による行政書士無料相談会を行い、地域の方の悩みを支援します。